

⑥ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	授業に含まれているスキルセットのキーワード	
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「基礎演習Ⅱ」「データ・サイエンス概論」 ・相関関係と因果関係「基礎演習Ⅱ」「データ・サイエンス概論」 ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度「基礎演習Ⅱ」「データ・サイエンス概論」	
	1-7 ・ソートアルゴリズム(バブルソート、選択ソート、挿入ソートなど)「コンピュータ・サイエンス概論」 ・探索アルゴリズム(線形探索、二分探索、リスト探索、木探索など)「ビッグデータ解析論」	
	2-2 ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など) 「コンピュータ・サイエンス概論」	
	2-7 ・文字型、整数型、浮動小数点型「コンピュータ・サイエンス概論」 ・変数、四則演算、論理演算「コンピュータサイエンス概論」	
	1-1 ・データ駆動型社会、Society 5.0「情報基礎Ⅰ」 ・データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など)「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」 ・データを活用した新しいビジネスモデル「基礎演習Ⅰ」「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」 ・データ分析の進め方「データ・サイエンス概論」・分析目的の設定「データ・サイエンス概論」	
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-2 ・様々なデータ分析手法(回帰)「データ・サイエンス概論」 ・様々なデータ可視化手法(比較)「データ・サイエンス概論」 ・データの収集、加工、分割/結合「データ・サイエンス概論」	
	2-1 ・ビッグデータ「基礎演習Ⅰ」「情報基礎Ⅰ」 ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「基礎演習Ⅰ」 ・ビッグデータ活用事例「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」 ・コンピュータの構成、動作、性能「コンピュータ・サイエンス概論」	
	3-1 ・人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測、判断、知識・言語、身体・運動)「基礎演習Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」 ・AI技術の活用領域の広がり(教育、芸術、流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「基礎演習Ⅰ」「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」	
	3-2 ・AI倫理「情報基礎Ⅱ」 ・プライバシー保護「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」 ・AIに関する原則「情報基礎Ⅱ」 ・AIの公平性、AIの説明可能性「情報基礎Ⅱ」	
	3-3 ・機械学習、教師あり学習「ビッグデータ解析論」 ・過学習「ビッグデータ解析論」	
	3-4 ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「ビッグデータ解析論」 ・ニューラルネットワークの原理「ビッグデータ解析論」	
	3-5 ・実世界で進む生成AIの応用と革新(対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など)「ビッグデータ解析論」 ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「ビッグデータ解析論」	
	3-10 ・AIの学習、評価「ビッグデータ解析論」	
	(3) 本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群、応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「基礎演習Ⅱ」「データ・サイエンス概論」 ・相関関係と因果関係「データ・サイエンス概論」・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度「データ・サイエンス概論」・並び替え(ソート)「コンピュータ・サイエンス概論」 ・ソートアルゴリズム(バブルソート、選択ソート、挿入ソートなど)「コンピュータ・サイエンス概論」・探索アルゴリズム(線形探索、二分探索、リスト探索、木探索など)「ビッグデータ解析論」 ・文字型、整数型、浮動小数点型「コンピュータ・サイエンス概論」 ・変数、四則演算、論理演算「コンピュータサイエ
		II ・データ分析の進め方「データ・サイエンス概論」・分析目的の設定「データ・サイエンス概論」 ・様々なデータ分析手法(回帰)「データ・サイエンス概論」 ・様々なデータ可視化手法(比較)「データ・サイエンス概論」 ・データの収集、加工、分割/結合「データ・サイエンス概論」 ・機械学習、教師あり学習「ビッグデータ解析論」 ・過学習「ビッグデータ解析論」

⑦ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータやAIの基本的な原理と仕組みを説明することができる ・コンピュータやAIが実社会とどのように関わっているかを説明することができる ・プログラミングの基本的な手法を理解し必要な実装を行うことができる ・様々なデータ分析手法を理解し必要な手順に実行することができる ・適切な調査設計・データ収集・処理・分析を行うことができる ・データやAIを適切に活用し課題の発見・解決に役立てることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータやAIが実社会とどのように関わっているかを説明することができる ・様々なデータ分析手法を理解し必要な実装を行うことができる ・様々なデータ分析手法を理解し必要な手順に実行することができる ・適切な調査設計・データ収集・処理・分析を行うことができる ・データやAIを適切に活用し課題の発見・解決に役立てることができる
--	--

⑥ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	授業に含まれているスキルセットのキーワード
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・代表値(平均値、中央値、最頻値)、分散、標準偏差「データサイエンス概論」 ・相関関係と因果関係「データサイエンス概論」 ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度「データサイエンス概論」
	1-7 <ul style="list-style-type: none"> ・並の書込(ソート)「コンピュータサイエンス概論」 ・ソートアルゴリズム(バブルソート、選択ソート、挿入ソートなど)「コンピュータサイエンス概論」 ・探索アルゴリズム(線形探索、二分探索、リスト探索、木探索など)「ビッグデータ解析論」
	2-2 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「コンピュータサイエンス概論」
	2-7 <ul style="list-style-type: none"> ・文字型、整数型、浮動小数点型「コンピュータサイエンス概論」 ・変数、四則演算、論理演算「コンピュータサイエンス概論」
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型社会、Society 5.0「デジタル・シチズンシップ論」 ・データサイエンス活用事例「デジタル・シチズンシップ論」 (仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替など) ・データを活用した新しいビジネスモデル「デジタル・シチズンシップ論」 ・データ分析の進め方「データサイエンス概論」 ・分析目的の設定「データサイエンス概論」
	1-2 <ul style="list-style-type: none"> ・様々なデータ分析手法(回帰)「データサイエンス概論」 ・様々なデータ可視化手法(比較)「データサイエンス概論」 ・データの収集、加工、分割、結合「データサイエンス概論」
	2-1 <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ「デジタル・シチズンシップ論」 ・ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス「デジタル・シチズンシップ論」 ・ビッグデータ活用事例「デジタル・シチズンシップ論」 ・コンピュータの構成、動作、性能「コンピュータサイエンス概論」
	3-1 <ul style="list-style-type: none"> ・人間の知的活動とAI技術(学習、認識、予測・判断、知識・言語、身体・運動)「デジタル・シチズンシップ論」 ・AI技術の活用領域の広がり(教育、芸術、流通、製造、金融、インフラ、公共、ヘルスケアなど)「デジタル・シチズンシップ論」
	3-2 <ul style="list-style-type: none"> ・AI倫理「デジタル・シチズンシップ論」 ・プライバシー保護「デジタル・シチズンシップ論」 ・AIに関する原則「デジタル・シチズンシップ論」 ・AIの公平性、AIの説明可能性「デジタル・シチズンシップ論」
	3-3 <ul style="list-style-type: none"> ・機械学習、教師あり学習「ビッグデータ解析論」 ・過学習「ビッグデータ解析論」
	3-4 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)「ビッグデータ解析論」 ・ニューラルネットワークの原理「ビッグデータ解析論」
	3-5 <ul style="list-style-type: none"> ・実世界で進む生成AIの応用と革新(対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など)「ビッグデータ解析論」 ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「ビッグデータ解析論」
	3-10 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの学習、評価「ビッグデータ解析論」
	(3) 本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群、応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。

⑦ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータやAIの基本的な原理と仕組みを説明することができる ・コンピュータやAIが実社会とどのように関わっているかを説明することができる ・プログラミングの基本的な手法を理解し必要な実装を行うことができる ・様々なデータ分析手法を理解し必要な実装を行うことができる ・適切な調査設計・データ収集・処理・分析を行うことができる ・データやAIを適切に活用し課題の発見・解決に役立てることができる
--

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数

(常勤)	220	人
(非常勤)	196	人

② プログラムの授業を教えている教員数(令和7年度)

12	人
----	---

③ プログラムの運営責任者

(責任者名)	石井 雅章
(役職名)	教育イノベーション研究センター長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

(名称)	教養・基盤教育運営部会
------	-------------

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

(名称)	神田外語大学教養・基盤教育運営部会規則
------	---------------------

⑥ 体制の目的

当部会は、教養科目及び基盤教育科目(いずれも数理・データサイエンス・AIに関する科目を含む)をはじめとする教養教育のカリキュラム運営を通して、本学における教養・基盤教育の充実に資することを目的とする。

この目的のため当部会は、数理・データサイエンス・AIに関する科目を主に担当する教育イノベーション研究センターの教員を含む、教養科目及び基盤教育科目を担当する教員によって構成する。

⑦ 具体的な構成員

◆外国語学部
 教授:町田 明広(教養・基盤教育運営部会長)
 武田 明典・青砥 清一・飯島 明子・吉村 稔子・広瀬 和佳子
 准教授:大宅 利美・柳 在廣・伊藤 未帆
 講師:曾我部 和馬・林 亜美・浅田 瑛

◆グローバル・リベラルアーツ学部
 教授:石井 雅章・吉田 京子・植田 かおり 准教授:上野 太祐・鈴木 健太 講師:田中 李歩

◆教育イノベーション研究センター
 准教授:近藤 秀樹・井芹 俊太郎

◆アカデミックサクセスセンター
 准教授:西 菜穂子 特任講師:大森 優 講師:古賀 万紀子

◆体育・スポーツセンター
 准教授:江川 潤

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

令和7年度履修率	0.5%
令和8年度予定	2.7%
令和9年度予定	9.5%
令和10年度予定	13.5%
令和11年度予定	15.1%

具体的な計画

令和7年度は以下の手段で学生へのプログラムの周知を行った。

- ・学生用ポータルサイトでの案内
- ・プログラムを構成する科目の授業内での紹介
- ・大学ホームページでの情報公開
- ・新年度ガイダンスの資料として動画とチラシを共有
- ・学生便覧でのプログラムの案内

プログラム開始初年度となる令和7年度は幅広い周知を目的とし新年度ガイダンス用のチラシと動画を新たに作成し周知を図った。

また学生用ポータルサイトの案内に関しては全体への案内とは別に令和5年度より先行して運用しているリテラシーレベルのプログラム履修者に対し、継続して学べる発展的内容のプログラムとして本プログラムを紹介した。現在リテラシーレベルの履修者及び修了者は198名いるため、この学生が継続的に履修することでプログラム履修率が向上することを見込んでいる。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本プログラムは学部ごとに異なるカリキュラム・修了要件となっているが、いずれも希望する全ての学生が履修・修了できるものとなっている。

また学生への周知の際は、プログラムの履修に関する問い合わせ窓口が教務部であることを明示しており、学生からの相談があった際は担当者が対応を行っている。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

周知については⑧に記載の通り、対象となる全ての学生に情報が行き渡る方法で行っている。また外国語学部の「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」必修科目の履修によってプログラムの一部が履修できる仕組みとなっている。

加えて本学では令和5年度より、学修者本位の教育を実現するための教学マネジメントの一環として、シラバス・履修科目選択・学習環境・学修成果実感等に関する課題を把握するための「授業運営アンケート」を実施しており、学生が希望通りの履修をできているかについても確認を行っている。本プログラムの構成科目は多くの学生が履修できるよう時間割等の考慮が成されているが、このアンケートで特定の科目における学生の履修しにくさやその要因が判明した場合は、教養・基盤教育運営部会、教務委員会を中心に改善の検討を行う。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

外国語学部の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」は、いずれもオンデマンド型授業として初年次に開講されており、学生が計画的に履修・修得できるよう多面的な支援を行っている。各クラスには担当教員を配置し、学習内容や課題に関する質問対応、進捗が遅れている学生への個別リマインドを実施しているほか、教材開発担当教員による対面での学習相談会も定期的を開催している。また、受講状況の情報は各学科・専攻の教員間で共有し、必修科目担当教員が個別面談等を通じて学習習慣の定着を支援している。さらに、グローバル・リベラルアーツ学部の「デジタル・シチズンシップ論」では、教員による対面でのきめ細かな指導体制を整え、初年次からの主体的な学修促進を図っている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

⑪に記載した「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「デジタル・シチズンシップ論」のいずれの科目でもLMSとしてGoogle Classroomを使用しており、学生はそれを通じて随時教員に質問をすることができる。

また、本学では全ての常勤教員がオフィスアワーを設けており、学生はその時間を活用して授業に関する質問・相談を行うことも可能である。これに加え本プログラムの問合せ窓口である教務部では通常事務局の開室時間での窓口での問合せ受付に加え、24時間送信可能である問合せフォームを学生に向けに開放しており、この問合せフォームからであれば時間の制約なく問合せを行える仕組みとなっている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制

質保証・質向上委員会

(責任者名)

宮内 孝久

(役職名)

学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>【外国語学部】 履修者:7名 7名全てが対象7科目中4科目修得済</p> <p>【GLA学部】 履修者:11名 対象11名中 2名が対象4科目中3科目修得済 7名が対象4科目中2科目修得済 2名が対象4科目中1科目修得済</p> <p>本プログラムは今年度前期より開始されたため、まだ全学的な認知度は低いが、2023年度より先行して開始されたリテラシーレベルプログラムの履修者と修了者は増加傾向にあるため、リテラシーレベル修了者に向けた応用基礎レベルのプログラム履修を積極的に訴求したい。リテラシーレベルと応用基礎レベルの修了要件科目は一部重複するため、今後リテラシーレベル修了者が応用基礎レベルを履修するようになれば修了者拡大に繋がると思われる。</p>
学修成果	<p>本プログラムでは、データサイエンス及びAIの基礎知識を応用的課題へ活用できる力の育成を目標としている。各科目において課題レポートやプレゼンテーションを通じて到達度を把握し、統計的思考力・分析力・論理的説明力などの観点から成果確認をおこなっている。年度末には履修者アンケートを実施し、教材内容や課題設定の改善に反映することで、概ね教育目標を達成していると確認する予定である。</p>
学生アンケート等を通じた学生の 内容の理解度	<p>本学の初年次科目およびデータサイエンス関連科目の授業評価アンケート結果を総合的に見ると、到達目標について「そう思う」「ややそう思う」と回答した学生は平均約86%と高い水準で推移している。また、情報基礎科目の授業難易度については、ちょうどよかった」と回答した学生が約80%を占め、多くの学生が適切な水準と受け止めていることが示された。これらより、授業内容は概ね学生の理解度・負担感に即した設計となっていることが確認できる。これらの履修者へのアンケート結果をふまえ、必要な内容・水準は維持したうえでの難易度等の調整を検討していく。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等 他の学生への推奨度	<p>本プログラムは実施初年度であり、修了者に対する正式なアンケートは未実施である。しかし、授業内で得られている中間的なフィードバックでは、学修内容の実務的な有用性や段階的に学べる構成への肯定的な意見がみられ、今後の履修者アンケートにおいても一定の推奨意向が示されることが期待される。正式なアンケート結果については、次年度以降の教育内容の改善に活用する。</p>
全学的な履修者数、履修率向上 に向けた計画の達成・進捗状況	<p>プログラム開始初年度の令和7年度は、幅広い学生への周知を目的として、新年度ガイダンス用のチラシや動画を作成し周知を図った。また、学生用ポータルサイトでは、リテラシーレベルの履修者・修了者198名に対し、本プログラムを発展的内容として紹介し継続履修を促した。これにより、既存履修者の継続受講を通じて、全学的な履修率の向上が期待されている。</p>

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p>学外からの視点</p> <p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p> <p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>本プログラムは今年度より開始されたものであり、修了者の卒業は令和8年度以降に発生する見込みである。本学では全ての卒業生を対象とした「卒業生アンケート」を実施しているため、修了者の進路や活躍状況については、その活用により行う予定である。また、卒業生の就職先を中心とした企業の方を対象とした「企業アンケート」も実施しているため、企業等からの評価はその活用に加えて、必要に応じたインタビューの実施により把握することを予定している。</p> <p>本プログラムは新規開設であり産業界からの直接的評価実績はないが、基礎プログラム（リテラシーレベル）申請時には、企業より「社会との関わりを体系的に学べる構成である」「演習を通じてデータを読む・説明する力が育成されている」との評価を得ている。また、特定ソフトの活用機会や授業間連携の課題が指摘されたことから、これらを応用レベル設計時の留意点として整理した。応用レベルはリテラシーレベル修了に必要な科目に加え、より発展的な内容を扱う科目を追加して構成しており、産業界の視点を踏まえた学修内容の深化を図る。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>本プログラムは実施初年度であり、現時点では学生の「数理・データサイエンス・AIを学ぶ楽しさ意義」に関する定量的なエビデンスは蓄積されていない。しかし、授業設計においては、身近なデータを扱う基礎的な分析体験から、学生が「理解できることの楽しさ」や「自身の関心領域に応用できる意義」を実感しやすい構成としている。特に、理論と実践を往還しながら学修する設計と、学生が主体的にデータを扱う演習を重視していることから、今後のアンケートにおいても、学修に対する関心の高まりが得られることが期待される。これらの結果は次年度以降の教育改善に活用し、学生が楽しさと意義を感じながら継続的に学ぶ環境の充実を図る。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>本プログラムの修了要件科目の授業アンケート内の到達目標を達成したかという項目で「そう思う」「ややそう思う」と回答した学生の平均は 約86% と概ね高い水準で推移している。基礎演習Ⅰ・Ⅱは9割前後、デジタル・シチズンシップ論では100%と特に高い評価が得られた。一方で、専門科目の一部には改善の余地も見られる。これらの結果を総合し、プログラム全体として学修成果の確実な定着を図るべく、授業内容や水準の維持・向上に引き続き取り組んでいく。</p>

授業名	基礎演習Ⅰ A1	授業形態	オンデマンド
Name of Course	METHODS IN STUDIESⅠ A1		
担当教員氏名	曾我部 和馬		
期間・曜日・時限	2025年度前期	集中講義／曜日時限のない科目	
配当学年	1年		
単位数	2.0単位		
科目ナンバリング	BAS111		

使用言語/Language	日本語
語学基準/Language Level	なし
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p>基礎演習は、大学での学習を進めるうえで必要となるアカデミック・リテラシーを身につける科目です。「基礎演習Ⅰ」では、キャリアデザイン、デジタル・シチズンシップ、アカデミック・ライティングの3領域を体系的に学び、外国語大学の学生として国際社会の課題に対応できる思考力と表現力の基礎を修得します。</p> <p>[到達目標]</p> <p>(キャリアデザイン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身にとって働くこと、生きることに対する価値観や意味を表明することができる。 ・自身にとって絶対に譲れない軸となる価値観、欲求、能力を説明することができる。 ・自身を取り巻く政治、経済、社会、技術的な外部環境要因を列挙することができる。 ・外国語を活かした仕事や働き方を列挙することができる。 ・自身とは言語や文化の異なる人と仕事をするときの心構えを説明できる。 ・職業選択に向けて必要な行動と大学での学びのつながりを説明できる。 <p>(デジタル・シチズンシップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル情報の特性を説明することができる ・ネットワーク社会に参加する意義を説明できる。 ・IDとパスワードの重要性を説明できる ・情報の発信元を探することができる。 ・発信元を明記した情報を発信することができる。 ・大学が提供するデータベース・サービスを利用することができる。 ・情報発信に伴う責任を説明することができる。 ・責任を果たした形式で情報を発信することができる。 ・大学が提供するクラウドアプリ（ドキュメント、スプレッドシート、スライド等）を操作することができる。 <p>(アカデミック・ライティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成の基礎知識（研究倫理の重要性、レポートの定義、種類、構成、形式）を理解することができる ・レポートの構成を理解し、アウトラインを書くことができる ・引用を適切に用いて文章を書くことができる

	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフを意識して文章を書くことができる ・レポートにふさわしい日本語表現を用いて文章を書くことができる
サブタイトル/Subtitle	キャリアデザイン／デジタル・シチズンシップ／アカデミック・ライティングI
授業の計画/Lecture Topics	
第1回	人生設計と自己理解
第2回	外部環境（政治経済社会）とのつながり
第3回	人生設計に職業選択が与える重要性
第4回	外国語を活かすキャリアプラン
第5回	職業選択に向けて必要な学びと行動
第6回	デジタルの特性を考える 1
第7回	デジタルの特性を考える 2
第8回	デジタル社会とアイデンティティ
第9回	デジタル社会における情報受容と発信
第10回	デジタルを通じた他者・社会との関わり
第11回	レポートとは何か
第12回	アウトラインを作成する
第13回	引用を学ぶ
第14回	パラグラフ・ライティングを学ぶ
第15回	レポートの表現を学ぶ
テキスト/Textbooks	
参考書/Reference Books	
成績評価の方法/Grading	<p>各セクションにおける単元（ユニット）の動画視聴、ワーク、チェックテスト、添削課題の提出及び内容により評価をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン（25%） ・デジタル・シチズンシップ（25%） ・アカデミックライティングI（25%） ・添削課題（15%） ・全単元の完全受講（10%） <p>*各セクションともに80%以上の受講が必須（80%未満のセクションがある場合は不可）</p> <p>*添削課題未提出は不可</p>
その他/Additional Comments	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は履修期間と受講サイクルを指定したオンデマンド授業として実施します。 ・オンデマンド授業は専用のウェブサイトから履修してください。 ・履修用のウェブサイトとは別に、「ホームルーム」用のGoogle Classroomを開きます。 ・Google Classroomには履修に関する各種情報が随時アップされるので、こまめに確認してください。
参考URL/Reference	

注意事項/Instructions to Students	<ul style="list-style-type: none">・「基礎演習I・II」は必修科目です。1年次に単位修得できるように履修してください。・指定されたクラス（Google Classroom）ごとに、3つのセッション（キャリアデザイン、デジタル・シチズンシップ、アカデミックライティング）の履修期間が異なります。・指定されたクラスごとに指示された期間及びサイクルに従って、各セッションの履修を進めてください。・セッションごとに対面形式でのフォローアップセッションを実施する予定です。積極的に参加するようにしてください。
-------------------------------	---

授業名	基礎演習Ⅱ A1	授業形態	オンデマンド
Name of Course	METHODS IN STUDIES II A1		
担当教員氏名	曾我部 和馬		
期間・曜日・時限	2025年度後期	集中講義／曜日時限のない科目	
配当学年	1年		
単位数	2.0単位		
科目ナンバリング	BAS112		

使用言語/Language	日本語
語学基準/Language Level	なし
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p>基礎演習は、大学での学習を進めるうえで必要となるアカデミック・リテラシーを身につける科目です。「基礎演習Ⅱ」では、クリティカル・リーディング、数的思考、アカデミック・ライティングの3領域を体系的に学び、高度な情報社会に対応できる思考力と表現力の基礎を修得します。</p> <p>[到達目標]</p> <p>(クリティカル・リーディング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマと問いに基づいて、データベースを用いて適切な新聞記事を検索することができる ・ 新聞記事から事実と主張を区別することができる ・ 新聞の社説を比較して、それぞれの主張の共通点と相違点を比較することができる ・ 文献の一部分を読み、著者の主張を整理することができる ・ 文献の一部分を読み、著者の主張の根拠を整理することができる ・ 文献の一部分を読み、著者の主張と根拠の妥当性を評価することができる <p>(数的思考法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数値の大きさ、変化、割合、散らばり、関係性から事象の特徴を推測することができる ・ 数値の大きさ、変化、割合、散らばり、関係性を比較することができる ・ 数値の大きさ、変化、割合、散らばり、関係性を分析、比較するのに適した表及びグラフを作成できる ・ 数値の大きさ、変化、割合、散らばり、関係性を示す数値を扱う上での留意点（単位・測定方法など）を説明できる ・ 数値の大きさ、変化、割合、散らばり、関係性を示す数値を用いた考察をおこなうことができる <p>(アカデミック・ライティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事実を正確に分かりやすく説明することができる ・ 客観的な事実・データとそれに対する分析・考察を書くことができる ・ レポート作成プロセスを理解し、それを実行してレポートを完成させることができる ・ 問いを立てることの重要性を理解し、問題提起することができる(与えられたデータから問いを立てる) ・ 図表を用いたレポートを作成することができる ・ ルーブリックを用いて、自身及び他者のレポートを評価することができる
サブタイトル/Subtitle	クリティカル・リーディング／数的思考／アカデミック・ライティングⅡ
授業の計画/Lecture Topics	

第1回	新聞記事を検索する（適切な情報を探す）
第2回	新聞記事を読む（事実と主張を区別する）
第3回	新聞記事（社説）を比較する
第4回	文献を読む（著者の主張を要約する）
第5回	文献を読む（著者の主張の根拠を探る）
第6回	数で事象を捉える：大きさを測る
第7回	数で事象を捉える：変化を測る
第8回	数で事象を捉える：割合を測る
第9回	数で事象を捉える：散らばりを測る
第10回	数で事象を捉える：関係性を測る
第11回	アカデミックライティングIで学んだ内容を確認する
第12回	調査結果の表現方法とレポートへのまとめ方を学ぶ
第13回	調査結果の考察と結論の表現方法を学ぶ
第14回	レポートの推敲について学ぶ
第15回	アカデミックライティングとは何かを振り返る
テキスト/Textbooks	
参考書/Reference Books	
成績評価の方法/Grading	<p>各セクションにおける単元（ユニット）の動画視聴、ワーク、チェックテスト、添削課題の提出及び内容により評価をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリティカル・リーディング（25%） ・数的思考（25%） ・アカデミックライティングII（25%） ・添削課題（15%） ・全単元の完全受講（10%） <p>*各セクションともに80%以上の受講が必須（80%未満のセクションがある場合は不可）</p> <p>*添削課題未提出は不可</p>
その他/Additional Comments	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は履修期間と受講サイクルを指定したオンデマンド授業として実施します。 ・オンデマンド授業は専用のウェブサイトから履修してください。 ・履修用のウェブサイトとは別に、「ホームルーム」用のGoogle Classroomを開きます。 ・Google Classroomには履修に関する各種情報が随時アップされるので、こまめに確認してください。
参考URL/Reference	
注意事項/Instructions to Students	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎演習I・II」は必修科目です。1年次に単位修得できるように履修してください。 ・指定されたクラス（Google Classroom）ごとに、2つのセクション（クリティカル・リーディングと数的思考）の履修期間が異なります。アカデミック・ライティングのセクションはすべてのクラスで同じです。 ・指定されたクラスごとに指示された期間及びサイクルに従って、各セクションの履修を進めてください。

・セッションごとに対面形式でのフォローアップセッションを実施する予定です。積極的に参加するようにしてください。

授業名	情報基礎 I	授業形態	オンデマンド
Name of Course	BASIC INFORMATION TECHNOLOGY I		
担当教員氏名	石井 雅章		
期間・曜日・時限	2025年度前期	集中講義／曜日時限のない科目	
配当学年	1年		
単位数	1.0単位		
科目ナンバリング	COM104		

使用言語/Language	日本語
語学基準/Language Level	なし
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p>情報基礎は、AIやICT、データを基盤とした現代社会で生きていくために必要な情報リテラシーとコミュニケーションスキルの基本について学ぶことを目的とする。情報基礎 II では、AI / ICTやデータを基盤とした情報サービスの便利さとリスク、AI / ICTを活用したコミュニケーションの特徴、Web上の情報の利活用と社会との関係、情報を活用した問題解決、インターネットとクラウドの仕組み、表計算ソフトによるデータ分析とビジュアライズ、情報社会とプライバシーの関係などを学ぶ。</p> <p>This course aims to learn the basics of information literacy and communication skills needed to live in today's AI, ICT and data-based society. In this course, students learn about convenience and risks of AI / ICT and data-based information services, characteristics of AI / ICT-based communication, the use of information on the web and its penetration into society, information-based problem solving, how the internet and the cloud work, data analysis and visualization using spreadsheets, and the relationship between the information society and privacy.</p> <p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AI / ICTやデータを基盤とした情報サービスの便利さとリスクを列挙できる ・ AI / ICTを活用したコミュニケーションの特徴を列挙できる ・ Web上の情報の利活用手法とWeb技術と社会との関係を説明できる ・ 情報を活用した問題解決の思考プロセスを示すことができる ・ インターネットとクラウドの仕組みを説明できる ・ 表計算ソフトによるデータ分析とビジュアライズができる ・ 情報社会とプライバシーの関係について説明できる
サブタイトル/Subtitle	AI / ICT社会におけるコミュニケーション

授業の計画/Lecture Topics

第1回	便利で楽しい情報サービス
第2回	情報サービスに潜む危険性
第3回	現代社会とコミュニケーション
第4回	IT/AI技術を用いたコミュニケーション1
第5回	IT/AI技術を用いたコミュニケーション2
第6回	Web上の情報の利活用1
第7回	Web上の情報の利活用2
第8回	目的に即した文章表現
第9回	情報を活用した問題解決力
第10回	インターネットとクラウド1
第11回	インターネットとクラウド2
第12回	表計算ソフトによる表とグラフの作成
第13回	表計算ソフトとデータベースの基本
第14回	AI・情報化社会とプライバシー1
第15回	AI・情報化社会とプライバシー2

テキスト/Textbooks

参考書/Reference Books

成績評価の方法/Grading	<p>受講状況、単元末テスト、提出課題で総合的に評価。</p> <p>評価比率は受講(チェックテスト含む)50%、単元末テスト(8割以上正解で合格)10%、課題40%。</p> <p>ただし、受講率(進捗率)70%未満の者は、点数にかかわらず、不合格とする。</p> <p>単元末テストは合格まで何度でも受けられる。</p> <p>課題は10点満点で採点され、期限に遅れた場合は1点減点。</p> <p>最低基準を満たさない課題は未提出と同等とみなされ、評価は0点。</p>
その他/Additional Comments	授業で学んだことを、実践してみることを。
参考URL/Reference	
注意事項/Instructions to Students	<p>外国語学部の学生のみ履修できます。</p> <p>《2022年度以前の入学生へ》</p> <p>情報能力は学生生活でも必須であるため、全学生の受講を推奨する。</p> <p>受講希望者はGoogle Classroom上での説明(オリエンテーション)を視聴して、フォームに回答すること。</p>

なお、インターネットを利用した講座のため人数制限はありません。

《2023年度以降の入学生へ》

1年次必修の「基礎演習I・II」で扱う内容をさらに掘り下げた内容なので、1年次に基礎演習とともに履修する、もしくは2年次以降に継続して履修することを推奨する。

情報能力は学生生活でも必須であるため、全学生の受講を推奨する。

「KUISデータサイエンス・AI基礎教育プログラム」の修了要件科目の1つです。

受講希望者はGoogle Classroom上での説明（オリエンテーション）を視聴して、フォームに回答すること。

なお、インターネットを利用した講座のため人数制限はありません。

授業名	情報基礎 II	授業形態	オンデマンド
Name of Course	BASIC INFORMATION TECHNOLOGY II		
担当教員氏名	石井 雅章		
期間・曜日・時限	2025年度後期	集中講義／曜日時限のない科目	
配当学年	1年		
単位数	1.0単位		
科目ナンバリング	COM105		

使用言語/Language	日本語
語学基準/Language Level	なし
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p>情報基礎は、AIやICT、データを基盤とした現代社会で生きていくために必要な情報リテラシーとコミュニケーションスキルの基本について学ぶことを目的とする。情報基礎 II では、ICTを活用したプレゼンテーション、情報セキュリティとデジタル技術の基礎、Web技術の基礎とサイト制作、表計算アプリを用いたデータ分析、コンピュータによる統計分析を通じた問題解決、AI / ICTを基盤とした情報社会と人間生活の関係などを学ぶ。</p> <p>This course aims to learn the basics of information literacy and communication skills needed to live in today's AI, ICT and data-based society. In this course, students learn about ICT-based presentations, the basics of information security and digital technology, the basics of web technology and site production, data analysis using spreadsheet applications, problem solving through computer-based statistical analysis, and the relationship between AI / ICT-based information society and human life.</p> <p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用したプレゼンテーションを行うことができる ・ 情報セキュリティとデジタル技術に関する基礎的な知識を説明できる ・ Web技術の基礎に基づきサイト制作ができる ・ 表計算アプリを用いたデータ分析ができる ・ コンピュータによる統計分析を通じた問題解決のプロセスを示すことができる ・ AI / ICTを基盤とした情報社会と人間生活の関係を説明できる
サブタイトル/Subtitle	AI / ICT社会におけるデータ・情報を活用した問題解決
	授業の計画/Lecture Topics
第1回	プレゼンテーションの基礎

第2回	プレゼンテーションアプリの使い方
第3回	プレゼンテーションのスキルアップのポイント
第4回	情報セキュリティとデジタル技術 (1)
第5回	情報セキュリティとデジタル技術 (2)
第6回	Web技術基礎(1)
第7回	Web技術基礎(2)
第8回	表計算ソフトによるデータ分析(1)
第9回	表計算ソフトによるデータ分析(2)
第10回	表計算ソフトを用いた企画・報告書の作成
第11回	コンピュータを活用したデータ分析 (1)
第12回	コンピュータを活用したデータ分析 (2)
第13回	AI / ICTを用いた発想法
第14回	AI / ICTを基盤とした社会と学びの可能性
第15回	AI / ICTを基盤とした情報社会の未来

テキスト/Textbooks

書名	著者	出版社	ISBN	備考
受講生にはWeb上で本講義のテキストが公開される				

参考書/Reference Books

成績評価の方法/Grading	<p>受講状況、単元末テスト、提出課題で総合的に評価。</p> <p>評価比率は受講(チェックテスト含む)50%、単元末テスト(8割以上正解で合格)10%、課題40%。</p> <p>ただし、受講率(進捗率)70%未満の者は、点数にかかわらず、不合格とする。</p> <p>単元末テストは合格まで何度でも受けられる。</p> <p>課題は10点満点で採点され、期限に遅れた場合は1点減点。</p> <p>最低基準を満たさない課題は未提出と同等とみなされ、評価は0点。</p>
その他/Additional Comments	授業で学んだことを、実践してみることを。
参考URL/Reference	
注意事項/Instructions to Students	<p>外国語学部の学生のみ履修できます。</p> <p>《2022年度以前の入学生へ》</p> <p>情報能力は学生生活でも必須であるため、全学生の受講を推奨する。</p>

受講希望者はGoogle Classroom上での説明（オリエンテーション）を視聴して、フォームに回答すること。

なお、インターネットを利用した講座のため人数制限はありません。

《2023年度以降の入学生へ》

1年次必修の「基礎演習I・II」で扱う内容をさらに掘り下げた内容なので、1年次に基礎演習とともに履修する、もしくは2年次以降に継続して履修することを推奨する。

情報能力は学生生活でも必須であるため、全学生の受講を推奨する。

「KUISデータサイエンス・AI基礎教育プログラム」の修了要件科目の1つです。

受講希望者はGoogle Classroom上での説明（オリエンテーション）を視聴して、フォームに回答すること。

なお、インターネットを利用した講座のため人数制限はありません。

授業名	データ・サイエンス概論	授業形態	対面
Name of Course	INTRODUCTION TO DATA SCIENCE		
担当教員氏名	井芹 俊太郎		
期間・曜日・時限	2025年度後期	水曜5限	
配当学年	2年		
単位数	2.0単位		
科目ナンバリング	BIN203		

使用言語/Language	日本語
語学基準/Language Level	N/A
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p>①授業のテーマと概要 Course Theme and Outline</p> <p>この授業は、データサイエンスの基礎的な素養を身につけることを目的とする。具体的には、地域でいえばグローバルとローカル、テーマでいえば環境、教育、マーケティングなどの様々なトピックについて、関連するデータを収集・処理・分析し、またその結果の考察を行う過程を通じて、データを活用して物事の真理に迫る力、課題を発見・解決する力、論理的・批判的に考える力を養うことを狙いとする。このような力は、いわゆる「文系・理系」を問わず、今後のグローバルな情報基盤社会を生き抜くうえで必須である。</p> <p>なお、本授業は分析作業とその考察を中心に展開するため、事前の数学的知識は問わない。必要な統計学の知識は予習のリーディング資料やそれを踏まえた解説で補完し、授業内の時間は分析作業の経験を積むことに重きを置く。</p> <p>The purpose of this course is to provide students with a basic grounding in data science. Specifically, through the process of collecting, processing, and analyzing relevant data on various topics, such as global and local in terms of regions, and environment, education, and marketing in terms of themes, and through the discussion of the results, the course aims to cultivate the ability to use data to get to the truth of things, to find and solve problems, and to think logically and critically. The aim is to cultivate the ability to use data to get to the truth of things, to discover and solve problems, and to think logically and critically. These skills are essential to survive in the global information-based society in the future, regardless of whether students are so-called "humanities or sciences" majors.</p> <p>Since this class revolves around analytical work and its discussion, prior mathematical knowledge is not required. The required statistical knowledge will be supplemented by the reading materials and explanations based on the reading materials, and the in-class time will focus on gaining experience in analytical work.</p> <p>②授業の目的と到達目標 Objectives and Goals</p> <p>目的は前述のとおりである。到達目標は次の4つである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間や空間の違い、異質性などを考慮しながらデータを読み取ることができる。(DP2,DP4,DP5,DP6) ・自らの関心に応じて、データを収集・処理・分析することができる。(DP3,DP4,DP5) ・既存理論や自らが設定した仮説を、データ分析を通じて検証することができる。(DP1,DP2,DP4,DP5) ・データの分析とそこから知識発見を、身近な課題あるいは社会的な課題の解決に役立てることができる。(DP2,DP4,DP5) <p>DP1 : △ DP2 : ○ DP3 : △ DP4 : ◎ DP5 : ◎ DP6 : △</p> <p>The objectives are as described above. The four objectives are as follows.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ To be able to read data while taking into account differences in time and space, heterogeneity, etc. (DP2, DP4, DP5, DP6) ・ To be able to collect, process, and analyze data according to one's own interests. (DP3, DP4, DP5)

・ To be able to test existing theories and hypotheses that you have formulated through data analysis. (DP1, DP2, DP4, DP5)

・ To be able to use data analysis and knowledge discovery to solve familiar and social problems. (DP2, DP4, DP5)

③授業形態 Class Formats

各回の授業は原則として「反転学習」で進める。事前学習では、講師が用意する動画や資料を参照して、各分析手法の基礎的知識の理解や、各分析手法の練習、事前学習テストの回答などに取り組んでもらう。そして授業内学習では、事前学習を基にした個人またはグループのワーク、発表などに取り組んでもらう。

履修者は、各々が興味のあるトピックについてデータの収集・処理・分析を行い、その結果の報告と考察を含む最終レポートを執筆する。また、学習して身につけた知識・スキルの定着を図るため、および最終レポート作成に向けた準備のため、授業内のデータ分析発表にも2回取り組んでもらう。履修生はできる限り自身の興味・関心に応じて、データの収集、加工、集計・分析などにチャレンジしてもらいたい。

In principle, each class will be conducted in a "flipped learning" format. In the pre-class study, students are required to understand the basic knowledge of each analysis method, practice each analysis method, and answer the pre-class study test by referring to videos and other materials provided by the instructor. In the in-class study, students will work on individual or group work and presentations based on the pre-study.

Each student will collect, process, and analyze data on a topic of interest, and write a final report that includes a report and discussion of the results. In order to consolidate the knowledge and skills acquired in the course and to prepare for the final report, students are required to make two in-class data analysis presentations. Students are encouraged to try their hand at data collection, processing, tabulation, and analysis according to their own interests as much as possible.

④準備学習とその時間 Preparation study and amount of time

予習：説明動画の視聴、事前リーディング、授業内ワークの準備、チェックテスト&事前学習アンケートの回答など（2時間）

復習：課題のブラッシュアップ、振り返りアンケートの回答（2時間）

Preparation: Watching instructional videos, pre-reading, preparing in-class work, answering check tests & pre-study questionnaires, etc(2 hours)

Review: Brush up on assignments, answer the review questionnaire(2 hours)

サブタイトル/Subtitle

データサイエンスの基礎的な素養を身につけることを目的とする。

授業の計画/Lecture Topics

第1回

授業の概要と進め方の説明、授業で扱うアプリの登録・インストール
+DSを学ぶ意義、面白さを知るためのゲスト講演（調整のうえ決定）

第2回

数値を比較・可視化する①
Tableau Desktopで大きさ、割合、変化を測る

第3回

数値を比較・可視化する②
Tableau Desktopで散らばり、関係性を測る

第4回

自分で集計・分析するためのデータを準備する
Tableau Prepでデータを接続・結合・クリーニングする

第5回

第1回授業内データ分析コンテスト（個人・ペアワーク発表）の準備

	<p>Tableauを使ったデータストーリーテリング（発表）の準備をする</p> <p>※コンテストで使用可能なリアルデータをいくつか紹介します</p> <p>※Tableau操作のティップス動画・資料集もオンデマンドで紹介します</p>
第6回	<p>第1回授業内データ分析コンテスト（個人・ペアワーク発表）</p> <p>関心のあるテーマについて、第2回～第5回の学習成果を活かし、Tableauでリアルデータを分析した結果を発表する</p> <p>※履修人数により発表方法は調整する</p> <p>※フィードバックは、発表やファイルへのコメント、ピアレビュー、全体講評などで行う</p>
第7回	<p>推測統計の考え方、母集団と標本について学ぶ</p> <p>点推定と区間推定の違いを理解する</p>
第8回	<p>数値の差異を統計的に考える①</p> <p>Exploratoryで統計的仮説検定について学ぶ</p> <p>T検定</p>
第9回	<p>数値の差異を統計的に考える②</p> <p>Exploratoryで比較対象やデータ種に応じた統計的仮説検定について学ぶ</p> <p>F検定、カイニ乗検定</p>
第10回	<p>データから事象を説明・予測する①</p> <p>Exploratoryで相関分析・重回帰分析の基礎を学ぶ</p>
第11回	<p>データから事象を説明・予測する②</p> <p>Exploratoryで重回帰分析の応用を学ぶ</p> <p>ダミー変数、合成変数、標準化、層別分析</p>
第12回	<p>データから事象を説明・予測する③</p> <p>Exploratoryでロジスティック回帰分析と決定木分析を学ぶ</p> <p>タイタニック号の事故で生き残ったのは誰か？</p>
第13回	<p>第2回授業内データ分析コンテスト（個人・ペアワーク発表）の準備</p> <p>Exploratoryを使ったデータ分析発表を準備する</p> <p>※コンテストで使用可能なリアルデータをいくつか紹介します</p> <p>※Exploratory操作のティップス資料・動画集もオンデマンドで紹介します</p>
第14回	<p>第2回授業内データ分析コンテスト（個人・ペアワーク発表）</p> <p>関心のあるテーマについて、第7回～第13回の学習成果を活かし、Exploratoryでリアルデータを分析した結果を発表する</p> <p>※履修人数により発表方法は調整する</p> <p>※フィードバックは、発表やファイルへのコメント、ピアレビュー、全体講評などで行う</p>
第15回	<p>最終レポートの構想発表と準備</p> <p>自分の最終レポートの構想を紹介・相談し、執筆を進める</p> <p>※授業内データ分析コンテストの内容とテーマやデータが重複しても良い</p> <p>※履修人数により発表方法は調整する</p>

テキスト/Textbooks

参考書/Reference Books

書名	著者	出版社	ISBN	備考
東京大学の先生伝授 文系のためのめっちゃやさしい統計	倉田 博史 (監修)	ニュートンプレス	2021	978-4315523614
1歩前からはじめる「統計」の読み方・考え方 [第2版]	神林 博史	ミネルヴァ書房	2019	978-4623084784
統計学がわかる (ファーストブック)	向後 千春, 富永 敦子	技術評論社	2007	978-4774131900

成績評価の方法/Grading	<p>①各授業回の事前・事後課題の提出 (30%) : 各回1~3点の間で設定</p> <p>②授業内データ分析コンテストの発表 (30%) : 15点×2回</p> <p>③最終レポート (40%) : 40点×1回</p> <p>※上記②と③はループリック評価で採点します。各ループリック表は授業内で別途説明します。</p>
その他/Additional Comments	<p>・履修を検討中の人は、初回授業前に次のGoogle Classroomに登録しておいてください。⇒クラスコード [xjeqijx]</p> <p>・「数的思考法」を履修済みだと、本講義の内容の理解は早いと思います (未履修でも全く問題ありません)。</p> <p>・3年次から履修可能な「エビデンスと評価」、「ビッグデータ解析論」を、本講義の発展的科目に位置付けています。</p> <p><実務経験>業種：教育業/職種：分析官/年数：4年</p>
参考URL/Reference	<p>URL 1) Tableau Public https://public.tableau.com/app/discover オンラインでデータ ビジュアライゼーションを検索、作成、公開共有するための無料のプラットフォーム。世界中のユーザーが優れたTableauの成果物を公開してくれている。作成したいもののイメージの参考に。</p> <p>URL 2) Exploratoryの公式サイト https://exploratory.io/ 始め方や各種機能のガイドだけでなく、毎週のように実施しているセミナーの動画、企業等のユーザーによる事例発表の動画、ユーザーの作品 (レポートやダッシュボード)、各種サンプルデータも公開されている。</p> <p>URL 3) なるほど統計学園 (総務省統計局) https://www.stat.go.jp/naruhodo/ データサイエンスのために必要な統計学の知識がわかりやすく書いてある。このほかにも、総務省統計局は様々な学習資料を公開しているので、それらも参考にしてほしい。</p>
注意事項/Instructions to Students	<p>・授業では毎回PCを使用します。</p> <p>・数値やデータ、PC操作が苦手な人でも歓迎します。この授業を機に苦手を克服しましょう。</p> <p>・この授業では、「Tableau」、「Exploratory」という2種類のソフトをPCにインストールしてもらう予定です。なお、インストール方法はGoogle Classroom内でガイドします。</p> <p>・上記の2つのソフトは学生であれば無料で使用可能です。また、上記ソフトの使用経験がゼロでも全く問題ありません。</p> <p>・履修人数や使用教室によっては、教室内に教員がいながらも、各々の端末で動画を見ながら学習を進めもらう時間帯を設ける場合があります。</p> <p>・本授業では「生成AIを活用した対話的・主体的な学習」を推奨しています。AIの出力精度の不確実性や追加の労力、技術的制約・リスク等があることをご理解ください。これらを受容し、積極的に参加できる方はぜひご検討ください。逆に、上記リスクや学習手法に不安を感じる場合は、事前に教員に相談するなど、履修について十分に検討してください。</p>

授業名	コンピュータ・サイエンス概論	授業形態	対面
Name of Course	INTRODUCTION TO COMPUTER SCIENCE		
担当教員氏名	近藤 秀樹		
期間・曜日・時限	2025年度後期	水曜2限	
配当学年	2年		
単位数	2.0単位		
科目ナンバリング	BIN204		

使用言語/Language	日本語
語学基準/Language Level	N/A
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p>【授業の概要と目的】</p> <p>この授業は、現代において広く用いられているコンピュータが、どのような原理で動作しており、何を成し遂げているのかについての基本的な知識と考え方を身につけることを目標とする。ここでコンピュータとは、パソコンやスマートフォンを含むがそれだけに限らない。私たちの社会はコンピュータによって支えられているが、それらが実際にどのようにして動き、何をしているのかについて理解している人は少ない。履修者は自分なりのものを作る活動を通じて、コンピュータの動作や考え方について学び、これからの社会でコンピュータと適切に向き合うための考え方の基礎を身につける。</p> <p>コンピュータがどのような仕組みで動いているのか、内部で何がおこっているのかを、授業を履修していない人にも具体的に説明できるような理解を目指す。</p> <p>ふたつのミニプロジェクトを通じて、コンピュータの原理や仕組みや原理についての理解を深めながら、コンピュータを活用したり、自分なりの作品を作ったり、さらに発展的な内容に独自に取り組む学習態度や習慣を確立することを目指す。</p> <p>【到達目標とDPとの関連性】</p> <p>(1)：現代のコンピュータの動作原理と、実際にその内部で起こっていることを具体的に説明できるようになる</p> <p>(2)：コンピュータや情報ネットワークが実際にどのように社会基盤を支えているのかを理解できる</p> <p>(4)：コンピュータ・サイエンスの文脈での合理的、論理的な考え方を身につける</p> <p>(5)：社会基盤を支える仕組みの理解と実情を踏まえた、現実的な課題発見の力を養う</p> <p>(6)：人間とは異なる特性をもつコンピュータの背景を理解し、互いの特性を活かした課題解決を尊重できるようになる</p> <p>・ DP1: ◎, DP2: ○, DP3: ×, DP4: ◎, DP5: ○, DP6: △</p> <p>【必要な事前・事後学習】</p> <p>事前活動：授業時間までに、前回までの授業内容を復習しておく</p> <p>事後活動：授業内で指定する課題に取り組む</p> <p>二つのプロジェクトを自分で時間配分をしながら責任をもって完成させる。これには授業時間以外にも各自で活動に必要な時間を充てることを含む</p> <p>※ プロジェクトA, プロジェクトBそれぞれで10時間程度の授業外時間を想定している</p> <p>[Course Overview]</p> <p>The goal of this course is to acquire fundamental knowledge and understanding of the principles underlying the operation of computers widely used in modern times and what they accomplish. Here, "computers" refer not only to personal computers and smartphones but also to other devices. Although our society is supported by computers, few people understand how they actually work and what they do. Through the activity of creating something of their own, students will learn about the operation and</p>

	<p>thinking of computers and acquire the foundation for how to deal with computers appropriately in society going forward.</p> <p>The aim is to achieve an understanding that can explain concretely to people who have not taken the course how computers work and what is happening inside them.</p> <p>Through two mini-projects, the aim is to deepen the understanding of the principles and mechanisms of computers, and to establish learning attitudes and habits to work on further advanced content, while utilizing computers to create their own work.</p>			
サブタイトル/Subtitle	自分なりの作る活動を通してコンピュータを理解する			
授業の計画/Lecture Topics				
第1回	オリエンテーション(授業の目的, 進め方について), 学び方の確認			
第2回	プロジェクトA キックオフ(シミュレーションの道具としてのコンピュータ)			
第3回	プロジェクトA 制作活動1			
第4回	プロジェクトA 制作活動2			
第5回	プロジェクトA 成果発表とピアレビュー			
第6回	コンピュータの構成1			
第7回	コンピュータの構成2			
第8回	画像の取り扱い			
第9回	文字の取り扱い			
第10回	情報のやりとり			
第11回	プロジェクトB キックオフ (基本アルゴリズムの動き)			
第12回	プロジェクトB 制作活動1			
第13回	プロジェクトB 制作活動2			
第14回	プロジェクトB 成果発表とピアレビュー			
第15回	まとめ			
テキスト/Textbooks				
参考書/Reference Books				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
プログラムはなぜ動くのか 第3版 知っておきたいプログラミングの基礎知識	矢沢 久雄	日経BP	2021	9784296000197
さわるようにしくみがわかるコンピュータのひみつ	原田 康徳	技術評論社	2019	9784297104597
コンヴィヴィアリティのための道具	イヴァン・イリイチ	筑摩書房	2015	9784480096883
成績評価の方法/Grading	<p>成績評定は以下の割合で行う.</p> <ul style="list-style-type: none"> - 期末試験 40% - 授業への貢献 20% - プロジェクトA 20% - プロジェクトB 20% <p>授業への貢献には以下が含まれる.</p>			

	<p>- Google Classroom上での質問や相談</p> <p>- プロジェクトA・プロジェクトBのピアレビューへの参加</p> <p>具体的な評価項目については都度授業内で説明する。</p>
その他/Additional Comments	プロジェクトAは9月末ごろから、プロジェクトBは12月はじめごろから開始する予定である。
参考URL/Reference	URL 1) ビスケット viscuit https://www.viscuit.com/ URL 2) Viscuit channel https://www.youtube.com/channel/UCPjRhk0GllxkovuZTob2xgA URL 3) Scratch https://scratch.mit.edu/
注意事項/Instructions to Students	<ul style="list-style-type: none">・ Student Assistantが入ることをご了承ください・ 特定のアプリやサービス、デバイスの使い方を扱う授業ではないことに注意してください・ 本授業では「生成AIを活用した対話的・主体的な学習」を推奨する一方、AIの出力精度の不確実性や追加の労力、技術的制約・リスク等があることをご理解ください。これらを受容し、積極的に参加できる方はぜひご検討ください。逆に、上記リスクや学習手法に不安を感じる場合は、事前に教員に相談するなど、履修について十分に検討してください。

授業名	ビッグデータ解析論	授業形態	対面
Name of Course	BIG DATA ANALYSIS		
担当教員氏名	近藤 伸彦		
期間・曜日・時限	2025年度前期	月曜3限	
配当学年	3年		
単位数	2.0単位		
科目ナンバリング	BIN301		

使用言語/Language	日本語
語学基準/Language Level	
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p><授業のテーマと概要></p> <p>情報通信技術の発展により、大規模で多種多様なデータが利用可能になりました。このようなビッグデータの適切な活用は、現代の課題解決やイノベーションの創出においてその重要性をますます高めています。本科目では、ビッグデータの解析に用いられる基盤技術として、機械学習、とくに実応用の最も多いと思われる教師あり学習を取り上げ、Pythonによる演習を通して、その基礎的な仕組みに対する本質的な理解と適切な活用方法について学びます。</p> <p>The development of information and communication technology has made large-scale and diverse data available, and the appropriate use of such big data is becoming increasingly important in solving contemporary problems and creating innovations. This course focuses on machine learning, especially supervised learning which is considered to have the most practical applications, as a fundamental technology used for analyzing big data. Through exercises in Python, this course aims to provide students with an essential understanding of the fundamental mechanisms and how to utilize them appropriately.</p> <p><授業の目的と到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械学習の概論的知識をもとに、実社会と機械学習の関わりについて自身の考えを表現できるようになる。(DP1、DP2、DP5) ・教師あり学習の基礎知識を身につけ、実応用において起こりうる現象を適切に評価できるようになる。(DP1、DP4) ・プログラミングにより教師あり学習の基本的な実装を行うことができるようになる。(DP4) ・プログラミングにおける試行錯誤過程にて直面した問題について、適切な情報を主体的に収集し、解決できるようになる。(DP4、DP5) ・トレードオフする評価基準のもとで、多角的な観点から適切な教師あり学習モデルの作成と評価ができるようになる。(DP4、DP5、DP6) <p>DP1：○、DP2：△、DP3：×、DP4：◎、DP5：◎、DP6：△</p> <p><授業形態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義・解説とPythonによる演習を繰り返しながら理解を進めます。 ・Pythonの環境としてGoogle Colaboratoryを用いるほか、Google系サービス等のオンラインツールを使用する予定です。 ・本授業はあくまで個人での学習が基本ですが、オンラインツールを活用しながら、学習状況や演習課題の成果物をシェアしたり相互フィードバックを行ったりして、クラス全体での学び合いを目指します。 <p><準備学習とその時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業テーマについて、参考資料による予習や調べ学習等を行います。

	<p>・原則として毎回授業内にPythonによる演習に取り組み、必要に応じて授業後に完成させてオンラインで提出します。</p> <p>・演習については、全員必須のテーマと任意のテーマを用意することがあります。自身の関心・意欲・状況に応じて取り組む量を決定し、主体的に学習計画を立ててください。</p> <p>・上記の授業時間外学習は毎週3時間程度を想定していますが、とくに最終課題のように多くの時間を要するものもあるため、計画的に取り組む必要があります。</p>
サブタイトル/Subtitle	機械学習の本質を体験的に理解する
授業の計画/Lecture Topics	
第1回	授業ガイダンス、導入的講義（ビッグデータ解析、機械学習の概要）
第2回	Pythonによる機械学習プログラミングとその環境準備
第3回	Pythonによる機械学習の体験
第4回	教師あり学習の概要（オンデマンド授業）
第5回	回帰問題
第6回	分類問題
第7回	決定木による学習
第8回	過学習と汎化能力(1)
第9回	過学習と汎化能力(2)
第10回	ニューラルネットワーク
第11回	機械学習で解く問題への定式化
第12回	機械学習モデルの評価
第13回	機械学習と倫理
第14回	総合的演習
第15回	発展的課題および授業のまとめと振り返り
テキスト/Textbooks	
参考書/Reference Books	
成績評価の方法/Grading	(1)学習の振り返りの記録（15%）、(2)演習課題の提出物（45%）、および(3)最終レポート（40%）を評価材料とし、これらの提出状況や達成度合いをポイント化して、成績評価と対応付けます。ポイントの状況はオンラインで常時公開し、いつでも確認できるようにします。ポイントと成績の対応など、成績評価の詳細は授業内において示します。
その他/Additional Comments	この授業では、Google Classroomを補助的に使用します。クラスコードは to4sj2w です。
参考URL/Reference	
注意事項/Instructions to Students	<p>・授業では毎回PCを使用します。</p> <p>・原則として、第4回を除きすべて対面での授業実施を予定していますが、社会情勢等により、急遽オンラインとする場合があります。</p> <p>・「データ・サイエンス概論」を修得していると理解が深まります（必須ではありません）。</p> <p>・Pythonの経験がなくても受講できます。ただし、プログラミング経験があるとより取り組みやすくなりますので、積極的に自主学習することは推奨します。</p>

授業名	デジタル・シチズンシップ論 B	授業形態	対面
Name of Course	DIGITAL CITIZENSHIP B		
担当教員氏名	石井 雅章		
期間・曜日・時限	2025年度後期	月曜5限	
配当学年	1年		
単位数	2.0単位		
科目ナンバリング	BIN104		

使用言語/Language	
語学基準/Language Level	
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	<p>[授業概要]</p> <p>本科目では、AI / ICT及びデータを基盤とした情報社会を生きる人間として不可欠な、情報を適切に創出・発信・受信するための知識、手法、態度及び価値観を身につける。インターネットを軸に構築されたデジタル社会においては、アクセスできる情報を受容するだけでは与えられる情報に振り回されるリスクが増大し、適切な判断ができない可能性がある。本科目では、現在のAI / ICT環境において情報が創出・発信・加工・受信される過程を理解するとともに、それらを担い社会と関わる人間として身につけるべき手法、態度及び価値観を修得することをめざす。</p> <p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル・シチズンシップの原則及び要素を列挙・説明することができる (DP3,4,5,6) ・ デジタル技術が人間と社会に及ぼす影響を説明することができる (DP1,2,4,5,6) ・ デジタル社会と人間のアイデンティティとの関係を説明することができる (DP1,2,6) ・ メディア情報リテラシーの内容を説明し、それに沿った行動の例を提示する (DP1,2,4,5,6) ・ デジタル社会におけるトラブルを列挙することができる (DP2,4,5,6) ・ デジタル社会におけるプライバシー及びセキュリティの問題を列挙することができる (DP2,4,5,6) ・ デジタル社会におけるウェルビーイングについて自身の考えを提示することができる (DP1,2,4,5,6) ・ デジタル社会におけるコミュニケーションのあり方について自身の考えを提示することができる (DP1,2,4,5,6) <p>[DPとの関連性]</p> <p>DP1○、DP2◎、DP3△、DP4◎、DP5◎、DP6◎</p> <p>[必要な事前・事後学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> - 予習:事前配布資料を視聴もしくは読み込み、フォーム等で事前課題を回答・提出する (2時間) - 復習:指定された方法による振り返りをおこない、提示された事後課題に取り組み、提出する (2時間) <p>[Course Description]</p> <p>In this course, you will acquire the knowledge, methods, attitudes, and values to create, transmit, and receive information appropriately, which are essential for people living in the information society. In today's Internet-based information society, simply accepting the information that is available increases the risk of being swayed by the information that is given, and there is a possibility of not being able to make appropriate decisions. This course aims to help people understand the process of creating, transmitting, processing, and receiving information in the current ICT environment, and to acquire the methods, attitudes, and values that should be acquired as a person who is responsible for these processes and is involved in society.</p>

	<p>[Course Objectives]</p> <p>To list and explain the principles and elements of digital citizenship</p> <p>To explain the impact of digital technology on humans and society</p> <p>To explain the relationship between digital society and human identity</p> <p>To explain content of media information literacy and present examples of behavior align with it</p> <p>To list problems in the digital society</p> <p>To list the problems of privacy and security in the digital society.</p> <p>To present one's own ideas about wellbeing in the digital society</p> <p>To present one's own ideas on how communication should be in a digital society.</p> <p>[Relevance of DP]</p> <p>DP1○、DP2◎、DP3△、DP4◎、DP5◎、DP6◎</p>			
サブタイトル/Subtitle	デジタル社会における社会への関わり方を考える			
授業の計画/Lecture Topics				
第1回	授業の概要及び進め方についての説明と準備に関する指示			
第2回	デジタル・シチズンシップの定義を知る（その1）			
第3回	デジタル・シチズンシップの定義を知る（その2）			
第4回	デジタル技術と社会の関係を理解する（その1）			
第5回	デジタル技術と社会の関係を理解する（その2）			
第6回	デジタル技術とアイデンティティ形成の関係を理解する（その1）			
第7回	デジタル技術とアイデンティティ形成の関係を理解する（その2）			
第8回	メディア情報リテラシーの内容を理解する（その1）			
第9回	メディア情報リテラシーの内容を理解する（その2）			
第10回	デジタル社会におけるトラブルを想定する			
第11回	デジタル社会におけるセキュリティを考える（その1）			
第12回	デジタル社会におけるセキュリティを考える（その2）			
第13回	デジタル社会における社会への関わり方を考える（その1）			
第14回	デジタル社会における社会への関わり方を考える（その2）			
第15回	総合まとめ			
テキスト/Textbooks				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
各回で使用する資料は授業開始前にClassroomで指示します。				
参考書/Reference Books				
書名	著者	出版社	ISBN	備考

『デジタル・シティズンシップ:コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び』	坂本旬、芳賀高洋、豊福晋平、今度珠美、林	大月書店	2020	978-4272412594
成績評価の方法/Grading	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加度 20% ・ ディスカッション・レポート (40%) ・ 最終レポート (40%) <p>※ 「授業への参加度」には以下が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 授業についての振り返り - 授業内のグループ活動や Discussion への積極的な参加等 <p>※ 他の評価項目については授業内で別途説明します。</p>			
その他/Additional Comments	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期クラス（「デジタルシティズンシップ論B」）は1年生以上が履修可能です。 ・ 初回授業時に人数制限の可能性があります。 ・ 後期クラスは、GLA学部1,2年生が優先的に履修ができます。3年生以上は前期クラス（同名科目A）を履修してください。 ・ 今年度から外国語学部の学生も履修可能です。但し、「基礎演習II」の一部内容と重複する部分があります。また、人数制限の場合は、GLA学部生の履修が優先されます。 			
参考URL/Reference				
注意事項/Instructions to Students	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本授業では「生成AIを活用した対話的・主体的な学習」を推奨する一方、AIの出力精度の不確実性や追加の労力、技術的制約・リスク等があることをご理解ください。これらを受容し、積極的に参加できる方はぜひご検討ください。逆に、上記リスクや学習手法に不安を感じる場合は、事前に教員に相談するなど、履修について十分に検討してください。 			

英米語学科 (英語研究コース)	1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数		
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期				
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位			
英語科目	必修	Freshman English I	4	Freshman English II	4	Media English I	2	Media English II	2	英語専門講読(各2単位) 履修条件: TOEFL B基準(ITP500, iBT61)以上またはIntensive Academic Reading II を修得済 *3,4年の各年次に2単位(1科目)ずつ履修すること。ただし3年次未修得の場合は、4年次に4単位履修可 *4年次前期において4単位(2科目)を修得し終えた場合は、4年次後期においても追加履修可(上限は設けない) *「英語専門講読」は留学期の単位振替対象科目とはならない English for Liberal Arts(各4単位) 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上またはIntensive Academic Reading I を修得済 *3年次前期は8単位(2科目)まで履修可 *12単位を修得し終えた学生は、追加履修可(上限は設けない)						4	45		
		Foundational Literacies: Reading & Writing I	2	Foundational Literacies: Reading & Writing II	2	Academic Literacies: Reading I	2	Academic Literacies: Reading II	2										
		English for Academic Purposes I	2	English for Academic Purposes II	2	Academic Literacies: Writing I	2	Academic Literacies: Writing II	2										
		2年への進級基準: 16単位のうち12単位以上修得				3年への進級基準: 28単位のうち24単位以上修得													
英語科目	選択必修	【履修年次 1~4】 TOEFL ITP480演習 1単位 ※ 履修条件: TOEFL ITP480演習を未修得 TOEFL ITP500演習 1単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 B基準(ITP500, iBT61)未滿 TOEFL iBT68演習 Listening/Reading 1単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未滿 TOEFL iBT68演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未滿 TOEFL iBT80演習 Listening/Reading 1単位 履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未滿 TOEFL iBT80演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未滿 【履修年次 3~4】 Intensive Academic Reading I 2単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)未滿 ※TOEFL C基準を入学時に達成している学生は、単位認定の上履修免除する TOEFL演習については、p.47~48、p.86~88 自由選択科目別表3を参照												12	1単位				
英語科目	選択	【履修年次 3(後期)~4】 Intensive Academic Reading II 2単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 B基準(ITP500, iBT61)未滿、または、Intensive Academic Reading I を修得済 ※その他の英語科目についてはp.52を参照												4	修得した場合 自由選択科目となる				
選択 外国語科目	選択必修	選択外国語 I (a) / (b) を同じ言語で4単位												4単位	4				
基礎教育科目	必修	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	キャリアデザイン I (基礎)	2											6単位	6
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること												10単位	10				
研究科目	導入	必修	英語学概論 *早い学年での履修を推奨する												4	4単位			
		選択必修 I 群	右の科目から2単位を修得すること。2単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 1~4】各2単位 英国研究入門 I 米国研究入門 I オセアニア研究入門 I カナダ研究入門 I 英国研究入門 II 米国研究入門 II オセアニア研究入門 II カナダ研究入門 II								2単位				
	基礎	選択必修 II 群	右の科目(選択したコースの科目)から8単位を修得すること。選択したコースで8単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの II 群科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 1~4】各4単位 現代英文法 自然科学としての言語学入門 世界の英語 英語音韻論 英語通訳法 I 社会言語学 英語統語論 I 英語通訳法 II				【履修年次 1~4】各2単位 世界の英語 社会言語学				8単位				
		選択必修 III 群	以下の科目(英語で行われる研究科目)から8単位を修得すること。自分の研究コースに分類される科目を履修することが望ましい。8単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 【基礎科目】履修条件: C基準またはIntensive Academic Reading I 【履修年次 1~4】各4単位 英語 Public Speaking Outline of English Phonetics 教育 Approaches and Strategies in Learning English 【発展科目】履修条件: B基準またはIntensive Academic Reading II 【履修年次 1~4】各4単位 英語 Debate 【履修年次 2~4】各2単位 Japanese Literature 地域 International Relations: Japan in a Global Context Japanese Politics 【履修年次 3~4】各4単位 英語 Japanese Literature 地域 Introduction to Language and Communication Japanese Popular Culture I Japanese Popular Culture II The History of Modern Japan 【履修年次 2~4】各2単位 英語 Japanese Literature 地域 Introduction to Language and Communication Japanese Popular Culture I Japanese Popular Culture II The History of Modern Japan 【履修年次 3~4】各4単位 英語 Topics in American Studies I Topics in American Studies II Topics in British Studies I Topics in British Studies II Topics in Canadian Studies I Topics in Canadian Studies II Topics in Oceanian Studies I Topics in Oceanian Studies II History of the United States I History of the United States II Survey of American and English Literature Themes in American and English Literature 【履修年次 3~4】各4単位 英語 Topics in Sociolinguistics 教育 Issues in Second Language Acquisition Issues in Applied Linguistics Pedagogies in Oral Communication												8単位				
		選択必修 IV 群	右の科目(選択したコースの科目)から12単位を修得すること。選択したコースで12単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの IV 群科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 2~4】各4単位 英語オーラルインテグレーション 英語を歴史的に見る 日英翻訳法 I 英日翻訳法 I 【履修年次 2~4】各2単位 国際共通語としての英語 【履修年次 3~4】各4単位 英語統語論 II 日本語から英語を見る 英語意味論・語用論 英語語法研究 日英翻訳法 II 英日翻訳法 II 【履修年次 3~4】各2単位 英語談話分析 英語会話分析								12単位				
研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位 すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。												16単位	※他学科専攻指定研究科目、学科専攻に属さない研究科目、卒業研究、卒業要件単位数を超えて修得した所属する学科専攻指定研究科目、演習科目を含む。					
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習(通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。												4	4単位	4			
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)												4	修得した場合 研究科目(その他)となる				
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。												5単位	5				

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

英米語学科 (英語教育研究コース)	1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数					
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期							
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位						
英語科目	必修	Freshman English I	4	Freshman English II	4	Media English I	2	Media English II	2	英語専門講読(各2単位) 履修条件:TOEFL B基準(ITP500, iBT61)以上またはIntensive Academic Reading IIを修得済 *3,4年の各年次に2単位(1科目)ずつ履修すること。ただし3年次未修得の場合は、4年次に4単位履修可 *4年次前期において4単位(2科目)を修得し終えた場合は、4年次後期においても追加履修可(上限は設けない) *「英語専門講読」は留学時の単位振替対象科目とはならない						4	45					
		Foundational Literacies: Reading & Writing I	2	Foundational Literacies: Reading & Writing II	2	Academic Literacies: Reading I	2	Academic Literacies: Reading II	2													
		English for Academic Purposes I	2	English for Academic Purposes II	2	Academic Literacies: Writing I	2	Academic Literacies: Writing II	2	English for Liberal Arts(各4単位) 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上またはIntensive Academic Reading Iを修得済 *3年次前期は8単位(2科目)まで履修可 *12単位を修得し終えた学生は、追加履修可(上限は設けない)						12						
	2年への進級基準:16単位のうち12単位以上修得 3年への進級基準:28単位のうち24単位以上修得																					
英語科目	選択必修	【履修年次 1~4】 TOEFL ITP480演習 1単位 ※ 履修条件:TOEFL ITP480演習を未修得 TOEFL ITP500演習 1単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 B基準(ITP500, iBT61)未満 TOEFL iBT68演習 Listening/Reading 1単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満 TOEFL iBT68演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満 TOEFL iBT80演習 Listening/Reading 1単位 履修条件:TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満 TOEFL iBT80演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件:TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満												【履修年次 3~4】 Intensive Academic Reading I 2単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)未満 ※TOEFL C基準を入学時に達成している学生は、単位認定の上履修免除する TOEFL演習については、p.47~48、p.86~88 自由選択科目別表3を参照						1		
	選択	【履修年次 3(後期)~4】 Intensive Academic Reading II 2単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 B基準(ITP500, iBT61)未満、または、Intensive Academic Reading Iを修得済 ※その他の英語科目についてはp.52を参照												修得した場合 自由選択科目となる								
選択 外国語科目	選択必修	選択外国語 I (a) / (b) を同じ言語で4単位														4	4					
基礎教育科目	必修	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	キャリアデザイン I (基礎)	2											6	6			
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10	10					
研究科目	導入	必修	英語学概論 *早い学年での履修を推奨する														4	4				
		選択必修 I 群	右の科目から2単位を修得すること。 2単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 1~4】各2単位 英国研究入門 I 米国研究入門 I オセアニア研究入門 I カナダ研究入門 I 英国研究入門 II 米国研究入門 II オセアニア研究入門 II カナダ研究入門 II										2					
	基礎	選択必修 II 群	右の科目(選択したコースの科目)から8単位を修得すること。 選択したコースで8単位を超えて修得した単位、 選択しなかったコースの II 群科目から修得した単位は、 研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 1~4】各4単位 第二言語習得研究 現代英文法 英語音韻論 英語統語論 I				英語音声学 認知発達と英語教育 児童英語教育論				【履修年次 1~4】各2単位 世界の英語 社会言語学				8			
		選択必修 III 群	以下の科目(英語で行われる研究科目)から8単位を修得すること。自分の研究コースに分類される科目を履修することが望ましい。8単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 【基礎科目】履修条件:C基準またはIntensive Academic Reading I 【履修年次 1~4】各4単位 英語 Public Speaking Outline of English Phonetics Approaches and Strategies in Learning English 【実地研究】履修条件はp.62~79参照 【履修年次 1~4】各4単位 TESOL海外研究 英国文化実地研究 米国文化実地研究 オセアニア文化実地研究 カナダ文化実地研究 【履修年次 1~4】各2単位 英語 Japanese Language and Culture Introduction to Language and Communication Japanese Popular Culture I Japanese Popular Culture II The History of Modern Japan 【履修年次 3~4】各2単位 地域 Japanese Literature International Relations: Japan in a Global Context Japanese Politics 【履修年次 1~4】各4単位 英語 Debate 【履修年次 2~4】各2単位 【履修年次 2~4】各2単位 【履修年次 3~4】各4単位 英語 Topics in American Studies I Topics in American Studies II Topics in British Studies I Topics in British Studies II Topics in Canadian Studies I Topics in Canadian Studies II Topics in Oceanian Studies I Topics in Oceanian Studies II History of the United States I History of the United States II Survey of American and English Literature Themes in American and English Literature 【履修年次 3~4】各4単位 英語 Topics in Sociolinguistics 教育 Issues in Second Language Acquisition Issues in Applied Linguistics Pedagogies in Oral Communication														凡例 英語:英語研究コース、教育:英語教育研究コース、地域:英語圏地域研究コース					
	発展	選択必修 IV 群	右の科目(選択したコースの科目)から12単位を修得すること。 選択したコースで12単位を超えて修得した単位、 選択しなかったコースのIV群科目から修得した単位は、 研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 2~4】各4単位 英語オーラルインタープリテーション 児童英語指導法(L&S) 児童英語指導法(R&W)				【履修年次 2~4】各2単位 外国語評価法 国際共通語としての英語 第二言語習得論				【履修年次 3~4】 日本語から英語を見る 4単位 応用言語学 4単位 英文法指導研究 2単位 英語授業研究 2単位 英語談話分析 2単位 英語会話分析 2単位				12			
		研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位				すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。				※他学科専攻指定研究科目、学科専攻に属さない研究科目、卒業研究、卒業要件単位数を超えて修得した所属する学科専攻指定研究科目、演習科目を含む。						16					
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4	4				
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる					
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														5	5					

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

英米語学科 (英語圏地域研究コース)		1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数	
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
英語科目	必修	Freshman English I	4	Freshman English II	4	Media English I	2	Media English II	2	英語専門講読(各2単位) 履修条件: TOEFL B基準(ITP500, iBT61)以上またはIntensive Academic Reading IIを修得済 *3,4年の各年次に2単位(1科目)ずつ履修すること。ただし3年次未修得の場合は、4年次に4単位履修可 *4年次前期において4単位(2科目)を修得し終えた場合は、4年次後期においても追加履修可(上限は設けない) *「英語専門講読」は留学期の単位振替対象科目とはならない						4	44単位	45	
		Foundational Literacies: Reading & Writing I	2	Foundational Literacies: Reading & Writing II	2	Academic Literacies: Reading I	2	Academic Literacies: Reading II	2	English for Liberal Arts(各4単位) 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上またはIntensive Academic Reading Iを修得済 *3年次前期は8単位(2科目)まで履修可 *12単位を修得し終えた学生は、追加履修可(上限は設けない)						12			
		English for Academic Purposes I	2	English for Academic Purposes II	2	Academic Literacies: Writing I	2	Academic Literacies: Writing II	2										
		2年への進級基準: 16単位のうち12単位以上修得				3年への進級基準: 28単位のうち24単位以上修得													
	選択必修	【履修年次 1~4】 TOEFL ITP480演習 1単位 ※ 履修条件: TOEFL ITP480演習を未修得 TOEFL ITP500演習 1単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 B基準(ITP500, iBT61)未満 TOEFL iBT68演習 Listening/Reading 1単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満 TOEFL iBT68演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満 TOEFL iBT80演習 Listening/Reading 1単位 履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満 TOEFL iBT80演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満								【履修年次 3~4】 Intensive Academic Reading I 2単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)未満 ※TOEFL C基準を入学時に達成している学生は、単位認定の上履修免除する TOEFL演習については、p.47~48、p.86~88自由選択科目別表3を参照								1単位	
	選択									【履修年次 3(後期)~4】 Intensive Academic Reading II 2単位 履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 B基準(ITP500, iBT61)未満、または、Intensive Academic Reading Iを修得済 ※その他の英語科目についてはp.52を参照								修得した場合 自由選択科目となる	
選択 外国語科目	選択必修	選択外国語 I (a) / (b)を同じ言語で4単位														4単位	4		
基盤教育科目	必修	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	キャリアデザイン I (基礎)	2											6単位	6
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10単位	10		
研究科目	導入	必修	英語学概論 *早い学年での履修を推奨する														4	4単位	
		選択必修 I 群	右の科目から2単位を修得すること。 2単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 1~4】各2単位 英国研究入門 I 米国研究入門 I オセアニア研究入門 I カナダ研究入門 I 英国研究入門 II 米国研究入門 II オセアニア研究入門 II カナダ研究入門 II								2単位				
	基礎	選択必修 II 群	右の科目(選択したコースの科目)から8単位を修得すること。 選択したコースで8単位を超えて修得した単位、 選択しなかったコースの II 群科目から修得した単位は、 研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 1~4】各2単位 英国史概論 I 英文学の歩み I 米国史概論 I 米国文化論 I 米国政治・外交論 I 英国史概論 II 英文学の歩み II 米国史概論 II 米国文化論 II 米国政治・外交論 II 英国社会・文化論 I 英連邦社会・文化論 I 米国社会論 I 米文学の歩み I 米国経済論 I 英国社会・文化論 II 英連邦社会・文化論 II 米国社会論 II 米文学の歩み II 米国経済論 II								8単位				
		選択必修 III 群	以下の科目(英語で行われる研究科目)から8単位を修得すること。自分の研究コースに分類される科目を履修することが望ましい。8単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 【基礎科目】履修条件: C基準またはIntensive Academic Reading I 【履修年次 1~4】各4単位 英語 Public Speaking Japanese Language and Culture Outline of English Phonetics Introduction to Language and Culture Approaches and Strategies in Learning English Japanese Popular Culture I Japanese Popular Culture II The History of Modern Japan 【実地研究】履修条件はp.62~79参照 【履修年次 1~4】各4単位 TESOL海外研究 英国文化実地研究 米国文化実地研究 オセアニア文化実地研究 カナダ文化実地研究 【履修年次 3~4】各2単位 Japanese Literature International Relations: Japan in a Global Context Japanese Politics 【履修年次 1~4】各4単位 英語 Debate 【履修年次 2~4】各2単位 Topic in American Studies I Topic in American Studies II Topics in British Studies I Topics in British Studies II Topics in Canadian Studies I Topics in Canadian Studies II Topics in Oceanian Studies I Topics in Oceanian Studies II History of the United States I History of the United States II Survey of American and English Literature Themes in American and English Literature 【履修年次 3~4】各4単位 英語 Topics in Sociolinguistics Issues in Second Language Acquisition Issues in Applied Linguistics Pedagogies in Oral Communication														8単位		
	発展	選択必修 IV 群	右の科目(選択したコースの科目)から12単位を修得すること。 選択したコースで12単位を超えて修得した単位、 選択しなかったコースの IV 群科目から修得した単位は、 研究科目(その他)の単位となる。				【履修年次 2~4】各2単位 英米法と社会 I 英米法と社会 II 日米関係論 I 日米関係論 II 地域比較文化論 I 地域比較文化論 II				【履修年次 3~4】各2単位 英文学と文化 I 英文学と文化 II 米文学と文化 I 米文学と文化 II 英語圏歴史・政治講読 I 英語圏歴史・政治講読 II				ダイバーシティ研究 I ダイバーシティ研究 II フィルム・スタディーズ I フィルム・スタディーズ II				12単位
	研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位				すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。				※他学科専攻指定研究科目、学科専攻に属さない研究科目、卒業研究、卒業要件単位数を超えて修得した所属する学科専攻指定研究科目、演習科目を含む。				16単位					
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習(通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4単位	4	
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる		
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														5単位	5		

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

アジア言語学科 中国語専攻	1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期					
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位				
英語科目	必修	Freshman English I (CK)	2	Freshman English II (CK)	2	Sophomore English I (CK)	2	Sophomore English II (CK)	2	English for Multicultural Communication (各4単位) (アジア言語学科・イベロアメリカ言語学科共通開講科目) 履修条件:(1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1)Freshman English I (CK)およびII (CK)の4単位 (2)Sophomore English I (CK)またはII (CK)いずれか2単位 *3年次は前期4単位、後期4単位を履修上限とする。3年次前期未修得の場合は、3年次後期に8単位履修可。 8単位修得し終えた場合は、英語科目の選択必修科目として追加履修可(上限は設けない)						8	20単位			
	選択必修	総合英語 I	1	総合英語 II	1	総合英語 III	1	総合英語 IV	1	以下の科目から4単位を修得すること 【履修年次 1~4】 時事英語 I 2単位 時事英語 II 2単位 履修条件:時事英語 IまたはC基準(4単位まで履修可) ビジネス英語 I 2単位 ビジネス英語 II 2単位 Oral Communication 1単位 Effective Language Learning Course I 1単位 Effective Language Learning Course II 1単位 履修条件:Effective Language Learning Course IまたはEffective Learning Module I(重複履修可) Effective Learning Module I 1単位 Effective Learning Module II 1単位 履修条件:Effective Language Learning Course IまたはEffective Learning Module I(重複履修可) 【履修年次 1~4】 TOEIC500演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 500点未満 TOEIC600演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 400点以上600点未満 TOEIC700演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 500点以上700点未満 TOEIC800演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 600点以上800点未満 TOEIC900演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 700点以上900点未満 検定試験(英語) 2~6単位 【履修年次 3~4】 English for Multicultural Communication 各4単位 ※3 履修条件:(1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1)Freshman English I (CK)およびII (CK)の4単位 (2)Sophomore English I (CK)またはII (CK)いずれか2単位 ※1:本欄の科目の詳細についてはp.52を参照 ※2:TOEIC演習についてはp.86~88自由選択科目別表3を参照 ※3:履修を推奨							4単位	24		
地域言語科目	必修	中国語基礎 I (a)	4	中国語基礎 II (a)	4	中国語基礎 III (a)	4	中国語基礎 IV (a)	4	中国語基礎 I (b)	2	中国語基礎 II (b)	2	中国語基礎 III (b)	2	中国語基礎 IV (b)	2	2年への進級基準:12単位すべて修得 (a)=総合、作文 (b)=会話、LL 3年への進級基準:24単位すべて修得		24単位
	選択必修	以下の科目から3分野すべてで2~4単位(合計10単位)を修得すること。 1分野のうち4単位までを選択必修科目の単位とし、それを超える修得単位は自由選択科目の単位となる。 【履修年次 3~4】各2単位 ※4年次に4単位以上を修得すること。 <中国語討論・スピーチ分野> 中国語討論 I 時事中国語 I 中国語討論・スピーチ I 中国語討論 II 時事中国語 II 中国語討論・スピーチ II 中国語討論 III 時事中国語 III 中国語討論・スピーチ III 中国語討論 IV 時事中国語 IV 中国語討論・スピーチ IV <中国語読解・聴解分野> 中国語読解 I 時事中国語 I 中国語読解・聴解 I 中国語読解 II 時事中国語 II 中国語読解・聴解 II 中国語読解 III 時事中国語 III 中国語読解・聴解 III 中国語読解 IV 時事中国語 IV 中国語読解・聴解 IV <中国語文法・書写分野> 中国語文法 I 時事中国語 I 中国語文法・書写 I 中国語文法 II 時事中国語 II 中国語文法・書写 II 中国語文法 III 時事中国語 III 中国語文法・書写 III 中国語文法 IV 時事中国語 IV 中国語文法・書写 IV														10単位	34			
基盤教育科目	必修	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	キャリアデザイン I (基礎)	2										6単位	6		
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10単位	10			
研究科目	必修	アジア研究入門、中国社会事情 I、中国社会事情 II *早い学年での履修を推奨する														各2	6単位			
	選択必修 I 群	以下の科目から4単位を修得すること。4単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 【履修年次 1~4】各2単位 中国語学概論 I 中国文化概論 I 中国史概論 I 中国経済概論 I 中国語学概論 II 中国文化概論 II 中国史概論 II 中国経済概論 II 中国思想概論 I 中国文学概論 I 中国現代史 I 中国政治外交概論 I 中国思想概論 II 中国文学概論 II 中国現代史 II 中国政治外交概論 II														4単位				
	専攻指定 選択必修 II 群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から8単位を修得すること。選択したコースで8単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 <言語研究コース> 【履修年次 2~4】各2単位 中国語文法論 I 中国語音声学 I 広東語 I ビジネス中国語 I 中国語通訳法 I 中国語文法論 II 中国語音声学 II 広東語 II ビジネス中国語 II 中国語通訳法 II 中国語音韻論 I 中国語学研究 I 福建語 I 中国語映像翻訳法 I 日中比較言語 I 中国語音韻論 II 中国語学研究 II 福建語 II 中国語映像翻訳法 II 日中比較言語 II <地域文化研究コース> 【履修年次 1~4】各2単位 【履修年次 2~4】各2単位 【履修年次 3~4】各2単位 中国文学史 I 中国現代文学研究 I 中国社会学研究 I 中国政治外交研究 I 中国古典講義 I 中国文学史 II 中国現代文学研究 II 中国社会学研究 II 中国政治外交研究 II 中国古典講義 II 日中関係論 I 中国文化研究 I 中国経済研究 I 海外華人論 I 中国文学研究 I 日中関係論 II 中国文化研究 II 中国経済研究 II 海外華人論 II 中国文学研究 II														8単位	24単位			
	選択必修 III 群	以下の科目から6単位を修得すること。6単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 【履修年次 3~4】各2単位 中国語翻訳法 I 中国語表現法 I 中国語翻訳法 II 中国語表現法 II 中国語翻訳法 III 中国語表現法 III 中国語翻訳法 IV 中国語表現法 IV														6単位				
研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位 全ての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。 ※他学科専攻指定研究科目、学科専攻に属さない研究科目、卒業研究、卒業要件単位数を超えて修得した所属する学科専攻指定研究科目、演習科目を含む。														16単位	40				
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4単位	4		
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる			
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														6単位	6			

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

アジア言語学科 韓国語専攻		1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数	
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
英語科目	必修	Freshman English I (CK)	2	Freshman English II (CK)	2	Sophomore English I (CK)	2	Sophomore English II (CK)	2	English for Multicultural Communication (各4単位) (アジア言語学科・イベロアメリカ言語学科共通開講科目) 履修条件:(1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1)Freshman English I (CK)およびII (CK)の4単位 (2)Sophomore English I (CK)またはII (CK)いずれか2単位 *3年次は前期4単位、後期4単位を履修上限とする。3年次前期未修得の場合は、3年次後期に8単位履修可。 8単位修得し終えた場合は、英語科目の選択必修科目として追加履修可(上限は設けない)								8	20単位
	選択必修	以下の科目から4単位を修得すること																4単位	24
		【履修年次 1~4】				【履修年次 1~4】				【履修年次 3~4】									
		時事英語 I 2単位				TOEIC500演習 1単位				English for Multicultural Communication 各4単位 ※3									
		時事英語 II 2単位 履修条件:時事英語 I またはC基準(4単位まで履修可)				TOEIC600演習 1単位				履修条件:(1)および(2)の合計6単位以上を修得済									
		ビジネス英語 I 2単位				TOEIC700演習 1単位				履修条件:(1)Freshman English I (CK)およびII (CK)の4単位									
		ビジネス英語 II 2単位				TOEIC800演習 1単位				(2)Sophomore English I (CK)またはII (CK)いずれか2単位									
		Oral Communication 1単位				TOEIC900演習 1単位				※1:本欄の科目の詳細についてはp.52を参照									
		Effective Language Learning Course I 1単位				検定試験(英語) 2~6単位				※2:TOEIC演習についてはp.86~88自由選択科目別表3を参照									
		Effective Language Learning Course II 1単位 履修条件:Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)								※3:履修を推奨									
		Effective Learning Module I 1単位																	
		Effective Learning Module II 1単位 履修条件:Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)																	
地域言語科目	必修	韓国語基礎 I	5	韓国語基礎 II	5	韓国語基礎 III	5	韓国語基礎 IV	5	2年への進級基準:10単位すべて修得								20単位	
	選択必修	3年への進級基準:20単位すべて修得								以下の科目から14単位を修得すること。 【履修年次 3~4年】各2単位 ※4年次に4単位以上を修得すること。 韓国語口頭表現 I 韓国語通訳法上級 I 韓国語翻訳法上級 I 韓国語対話文 I 韓国語上級会話 I 韓国語表現法 I 韓国語口頭表現 II 韓国語通訳法上級 II 韓国語翻訳法上級 II 韓国語対話文 II 韓国語上級会話 II 韓国語表現法 II 韓国語通訳法基礎 I 韓国語翻訳法基礎 I 時事韓国語 I 韓国語講読 I ビジネス韓国語 I TOPIK上級演習 I 韓国語通訳法基礎 II 韓国語翻訳法基礎 II 時事韓国語 II 韓国語講読 II ビジネス韓国語 II TOPIK上級演習 II								14単位	34
基礎教育科目	必修	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	キャリアデザイン I(基礎)	2									6単位	6		
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10単位	10		
研究科目	必修	アジア研究入門 2単位 *早い学年での履修を推奨する														2単位	40		
	専攻指定	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から22単位を修得すること。選択したコースで22単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。														22単位		24単位	
	選択必修 I 群	言語研究コース	<言語研究コース> 【履修年次 2~4】各2単位 <両コース共通> 【履修年次 1~4】各2単位 韓国文化概論 I 韓国文化概論 II 韓国史概論 I 韓国史概論 II 韓国社会経済概論 I 韓国社会経済概論 II												<韓国語研究コース> 韓国語学概論 I 日韓対照言語研究 I 韓国語史 I 日韓コミュニケーション研究 I 韓国語学概論 II 日韓対照言語研究 II 韓国語史 II 日韓コミュニケーション研究 II 韓国語文法論 I 韓国語社会言語学 I 韓国語映像翻訳法 I 韓国語文法論 II 韓国語社会言語学 II 韓国語映像翻訳法 II				
研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位 すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。														16単位				
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4単位	4	
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる		
自由選択科目		自由選択科目 ※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														6単位	6		

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

アジア言語学科 インドネシア語専攻		1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数	
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
英語科目	必修	Freshman English I (ML)	2	Freshman English II (ML)	2	Sophomore English I (ML)	2	Sophomore English II (ML)	2	English for Multicultural Communication (各4単位) (アジア言語学科・イベロアメリカ言語学科共通開講科目) 履修条件: (1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1)Freshman English I (ML)およびII (ML)の4単位 (2)Sophomore English I (ML)またはII (ML)いずれか2単位 *4単位修得し終えた場合は、英語科目の選択必修科目として追加履修可(上限は設けない) ただし、3年次は前期4単位、後期4単位を履修上限とする						4	20単位	24	
	選択必修	以下の科目から4単位を修得すること 【履修年次 1~4】 時事英語 I 2単位 時事英語 II 2単位 履修条件: 時事英語 I または C基準(4単位まで履修可) ビジネス英語 I 2単位 ビジネス英語 II 2単位 Oral Communication 1単位 Effective Language Learning Course I 1単位 Effective Language Learning Course II 1単位 履修条件: Effective Language Learning Course I または Effective Learning Module I (重複履修可) Effective Learning Module I 1単位 Effective Learning Module II 1単位 履修条件: Effective Language Learning Course I または Effective Learning Module I (重複履修可) 【履修年次 1~4】 TOEIC500演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 500点未満 TOEIC600演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 400点以上600点未満 TOEIC700演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 500点以上700点未満 TOEIC800演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 600点以上800点未満 TOEIC900演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 700点以上900点未満 検定試験(英語) 2~6単位 ※1: 本欄の科目の詳細についてはp.52を参照 ※2: TOEIC演習についてはp.86~88自由選択科目別表3を参照 ※3: 履修を推奨																	4
地域言語科目	必修	インドネシア語基礎 I (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	インドネシア語基礎 II (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	インドネシア語基礎 III (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	インドネシア語基礎 IV (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	インドネシア語総合 (各2単位) ※4年次に4単位以上を修得すること						8	28単位	30	
	選択必修	2年への進級基準: 10単位のうち8単位以上修得 3年への進級基準: インドネシア語基礎 I、II (10単位)およびインドネシア語基礎 III、IVのうち8単位以上修得(合計18単位以上)								インドネシア語応用 I/II (各2単位)						2	2単位		
基礎教育科目	必修	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	キャリアデザイン I (基礎)	2							6単位	6				
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10単位	10		
研究科目	必修	アジア研究入門 *早い学年での履修を推奨する														2	4単位	34	
	必修	インドネシア研究入門 *早い学年での履修を推奨する														2			
	選択必修 I 群	右の科目から6単位を修得すること。6単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。														6単位			
	専攻指定 選択必修 II 群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から8単位を修得すること。選択したコースで8単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 ＜言語文化研究コース＞ 【履修年次 1~4】各2単位 東南アジアの宗教と文化 I 東南アジアの芸術 I 東南アジアの宗教と文化 II 東南アジアの芸術 II 東南アジアの宗教と文化 III 東南アジアの芸術 III 東南アジアの芸術 IV ＜地域社会研究コース＞ 【履修年次 1~4】各2単位 東南アジア史 I 東南アジア社会論 I 東南アジア政治経済論 I 東南アジア史 II 東南アジア社会論 II 東南アジア政治経済論 II 【履修年次 2~4】各2単位 東南アジア言語概論 I ベトナムの文化・芸術 東南アジア言語概論 II ベトナムの民族・地理 東南アジア言語概論 III タイの文化・芸術 タイの民族・地理 【履修年次 2~4】各2単位 ベトナムの歴史 タイの歴史 ベトナムの宗教・社会 タイの宗教・社会 ベトナムの政治・経済 I タイの政治・経済 I ベトナムの政治・経済 II タイの政治・経済 II														8単位			
研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位 すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。														16単位	※他学科専攻指定研究科目、学科専攻に属さない研究科目、卒業研究、卒業要件単位数を超えて修得した所属する学科専攻指定研究科目、演習科目を含む。			
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4単位	4	
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる		
自由選択科目		自由選択科目 ※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														16単位	16		

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

アジア言語学科 ベトナム語専攻		1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数	
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
英語科目	必修	Freshman English I (ML)	2	Freshman English II (ML)	2	Sophomore English I (ML)	2	Sophomore English II (ML)	2	English for Multicultural Communication (各4単位) (アジア言語学科・イベロアメリカ言語学科共通開講科目) 履修条件:(1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1)Freshman English I (ML)およびII (ML)の4単位 (2)Sophomore English I (ML)またはII (ML)いずれか2単位 *4単位修得し終えた場合は、英語科目の選択必修科目として追加履修可(上限は設けない) ただし、3年次は前期4単位、後期4単位を履修上限とする						4	20単位		
	選択必修	以下の科目から4単位を修得すること																4	24
地域言語科目	必修	ベトナム語基礎Ⅰ (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	ベトナム語基礎Ⅱ (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	ベトナム語基礎Ⅲ (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	ベトナム語基礎Ⅳ (a)(b)(c)(d)(e)	5 (各1)	ベトナム語総合 (各2単位) ※4年次に4単位以上を修得すること						8	28単位		
	選択必修	ベトナム語基礎Ⅰ、Ⅱ(10単位)およびベトナム語基礎Ⅲ、Ⅳのうち8単位以上を修得(合計18単位以上)								ベトナム語応用Ⅰ/Ⅱ (各2単位)						2	2単位		
基礎教育科目	必修	基礎演習Ⅰ	2	基礎演習Ⅱ	2	キャリアデザインⅠ(基礎)	2							6単位	6				
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10単位	10		
研究科目	必修	アジア研究入門 *早い学年での履修を推奨する														2	4単位		
	必修	ベトナム研究入門 *早い学年での履修を推奨する														2			
	選択必修Ⅰ群	右の科目から6単位を修得すること。6単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。														6単位			
	専攻指定 選択必修Ⅱ群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から8単位を修得すること。選択したコースで8単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。														8単位			
研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位														16単位	34			
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4単位	4	
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる		
自由選択科目	自由選択科目 ※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														16単位	16			

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

イペロアメリカ言語学科 スペイン語専攻	1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数	
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期			
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
英語科目	必修	Freshman English I (ML)	2	Freshman English II (ML)	2	Sophomore English I (ML)	2	Sophomore English II (ML)	2	English for Multicultural Communication (各4単位) (アジア言語学科・イペロアメリカ言語学科共通開講科目) 履修条件:(1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1)Freshman English I (ML)およびII (ML)の4単位 (2)Sophomore English I (ML)またはII (ML)いずれか2単位 *4単位修得し終えた場合は、英語科目の選択必修科目として追加履修可(上限は設けない) ただし、3年次は前期4単位、後期4単位を履修上限とする						4	20単位	
	選択必修	以下の科目から4単位を修得すること 【履修年次 1~4】 時事英語 I 2単位 時事英語 II 2単位 履修条件:時事英語 I またはC基準(4単位まで履修可) ビジネス英語 I 2単位 ビジネス英語 II 2単位 Oral Communication 1単位 Effective Language Learning Course I 1単位 Effective Language Learning Course II 1単位 履修条件:Effective Language Learning Course I または Effective Learning Module I (重複履修可) Effective Learning Module I 1単位 Effective Learning Module II 1単位 履修条件:Effective Language Learning Course I または Effective Learning Module I (重複履修可) 【履修年次 1~4】 TOEIC500演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 500点未満 TOEIC600演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 400点以上600点未満 TOEIC700演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 500点以上700点未満 TOEIC800演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 600点以上800点未満 TOEIC900演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 700点以上900点未満 検定試験(英語) 2~6単位 ※2 【履修年次 3~4】 English for Multicultural Communication 各4単位 ※3 履修条件:(1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1)Freshman English I (ML)およびII (ML)の4単位 (2)Sophomore English I (ML)またはII (ML)いずれか2単位 ※1:本欄の科目の詳細についてはp.52を参照 ※2:TOEIC演習についてはp.86~88自由選択科目別表3を参照 ※3:履修を推奨																4
地域言語科目	必修	スペイン語基礎 I (a)	2	スペイン語基礎 II (a)	2	スペイン語基礎 III (a)	2	スペイン語基礎 IV (a)	2	スペイン語応用 I	2	スペイン語応用 II	2	2年への進級基準:10単位のうち7単位以上修得 3年への進級基準:スペイン語基礎 I、II (10単位)およびスペイン語基礎 III、IVのうち7単位以上修得(合計17単位以上)			24単位	
	選択必修	以下の科目から「スペイン語総合」1科目2単位を含む6単位を修得すること スペイン語総合 各2単位 ※1,2 ポルトガル語特講 I 2単位 ※1:複数クラス履修可。少なくとも1科目2単位を4年次で履修すること。 ポルトガル語特講 II 2単位 ※2:選択外国語科目の「スペイン語 III (a)(b) (継承言語者のためのスペイン語)」を修得済の場合、 ポルトガル語特講 III 2単位 スペイン語専攻以外の学生(3・4年次生に限る)も履修することができる(修得した単位は自由 ポルトガル語特講 IV 2単位 選択科目とする)。履修制限される場合はスペイン語専攻学生を優先する。																6
基礎教育科目	必修	基礎演習 I	2	基礎演習 II	2	キャリアデザイン I (基礎)	2										6単位	6
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10単位	10	
研究科目	必修	イペロアメリカ研究入門 *早い学年での履修を推奨する														2単位	18単位	34
	選択必修 I 群	右の科目から4単位を修得すること。 4単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 【履修年次 1~4】各2単位 イペリア史概論 I ラテンアメリカ史概論 I スペイン文学史 I 【履修年次 2~4】各2単位 イペリア史概論 II ラテンアメリカ史概論 II スペイン文学史 II スペイン語学概論 I 【履修年次 1~4】各2単位 西洋古典語概論 I (ラテン語) 西洋古典語概論 III (古典ギリシア語) スペイン語音声学 I スペイン語の歴史と地理 I 日西語対照研究 I 現代スペイン文学 I 現代ラテンアメリカ文学 I スペイン語翻訳法 I ポルトガル語学概論 I 西洋古典語概論 II (ラテン語) 西洋古典語概論 IV (古典ギリシア語) スペイン語音声学 II スペイン語の歴史と地理 II 日西語対照研究 II 現代スペイン文学 II 現代ラテンアメリカ文学 II スペイン語翻訳法 II ポルトガル語学概論 II ロマンス語学概論														4		
	選択必修 II 群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から4単位を修得すること。選択したコースで4単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 【履修年次 1~4】各2単位 言語文化研究コース 西洋古典語概論 I (ラテン語) 西洋古典語概論 III (古典ギリシア語) スペイン語音声学 I スペイン語の歴史と地理 I 日西語対照研究 I 現代スペイン文学 I 現代ラテンアメリカ文学 I スペイン語翻訳法 I ポルトガル語学概論 I 【履修年次 1~4】各2単位 地域社会研究コース ラテンアメリカ政治経済論 I ブラジル研究入門 【履修年次 2~4】各2単位 イペロアメリカの法と文化 I 現代イペリア研究 I 現代ラテンアメリカ研究 I ラテンアメリカ政治経済論 II ラテンアメリカ政治経済論 II イペロアメリカの法と文化 II 現代イペリア研究 II 現代ラテンアメリカ研究 II														4		
	選択必修 III 群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から8単位を修得すること。選択したコースで8単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 <言語文化研究コース> 【履修年次 3~4】各2単位 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 I スペイン語スピーチ・コミュニケーション I スペイン語通訳法 I スペイン語映像翻訳法 I スペイン語学研究 I スペイン語圏文学研究 I <両コース共通> スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II スペイン語スピーチ・コミュニケーション II スペイン語通訳法 II スペイン語映像翻訳法 II スペイン語学研究 II スペイン語圏文学研究 II 【履修年次 3~4】各2単位 Topics in Language and Culture(東南アジア・イペロ) <地域社会研究コース> 【履修年次 3~4】各2単位 商業スペイン語 I メキシコ研究 I スペイン美術史 I スペイン文化研究 I スペイン時事研究 I ラテンアメリカ時事研究 I 商業スペイン語 II メキシコ研究 II スペイン美術史 II スペイン文化研究 II スペイン時事研究 II ラテンアメリカ時事研究 II														8		
研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位 すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。 ※他学科専攻指定研究科目、学科専攻に属さない研究科目、卒業研究、卒業要件単位数を超えて修得した所属する学科専攻指定研究科目、演習科目を含む。														16単位			
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4	4
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる	
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														16単位	16	

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

イペロアメリカ言語学科 ブラジル・ポルトガル語専攻	1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数		
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期				
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位			
英語科目	必修	Freshman English I (ML)	2	Freshman English II (ML)	2	Sophomore English I (ML)	2	Sophomore English II (ML)	2	English for Multicultural Communication (各4単位) (アジア言語学科・イペロアメリカ言語学科共通講科目) 履修条件: (1)および(2)の合計6単位以上を修得済 (1) Freshman English I (ML) および II (ML) の4単位 (2) Sophomore English I (ML) または II (ML) いずれか2単位 *4単位修得し終えた場合は、英語科目の選択必修科目として追加履修可(上限は設けない) ただし、3年次は前期4単位、後期4単位を履修上限とする								4	20単位
	選択必修	以下の科目から4単位を修得すること																24	
地域言語科目	必修	ポルトガル語基礎Ⅰ(a)	2	ポルトガル語基礎Ⅱ(a)	2	ポルトガル語基礎Ⅲ(a)	2	ポルトガル語基礎Ⅳ(a)	2	ポルトガル語応用Ⅰ	2	ポルトガル語応用Ⅱ	2					24単位	
	選択必修	以下の科目から「ポルトガル語総合」1科目2単位を含む6単位を修得すること																6単位	
基礎教育科目	必修	基礎演習Ⅰ	2	基礎演習Ⅱ	2	キャリアデザインⅠ(基礎)	2											6単位	6
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目または体育・スポーツを修得すること														10単位	10		
研究科目	必修	イペロアメリカ研究入門 *早い学年での履修を推奨する														2	4単位		
	必修	ブラジル研究入門 *早い学年での履修を推奨する														2			
	選択必修Ⅰ群	以下の科目から4単位を修得すること。4単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。																4単位	
	選択必修Ⅱ群	言語文化研究コース 地域社会研究コース																6単位	18単位
選択必修Ⅲ群	以下の科目から4単位を修得すること。4単位を超えて修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。																4単位		
研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位 すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。																16単位		
演習科目	選択必修	研究演習または応用演習(通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。														4	4単位	4	
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)														4	修得した場合 研究科目(その他)となる		
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。														16単位	16		

■研究科目の履修条件については、p.62～79参照

合計124単位

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件単位数			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
英語科目	必修	English for International Communication I (a) 4 Reading/Writing I 4	English for International Communication I (b) 4 Reading/Writing II 4	English for International Communication II (a) 2 Media English I 2	English for International Communication II (b) 2 Media English II 2	English for International Communication III (各4単位) 履修条件: C基準 * 2年次終了時までにC基準を達成できなかった場合は、「EIC III履修認定試験」を受験すること。詳細はp.51を参照 * 3年次は前期4単位、後期4単位を履修上限とする。ただし、前期未修得の場合は、後期に8単位履修可 * 12単位修得し終えた学生は追加履修可				12	40単位	40
	選択	【履修年次 1~4】 TOEIC500演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 500点未満 TOEIC600演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 400点以上600点未満 TOEIC700演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 500点以上700点未満 TOEIC800演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 600点以上800点未満 TOEIC900演習 1単位 履修条件: TOEIC L&R 700点以上900点未満				【履修年次 1~4】 時事英語 I 2単位 時事英語 II 2単位 履修条件: 時事英語 I または C基準(4単位まで履修可) ビジネス英語 I 2単位 ビジネス英語 II 2単位 Effective Language Learning Course1 1単位 Effective Language Learning Course2 1単位 履修条件: Effective Language Learning Course1 又は Effective Learning Module1 (重複履修可) Effective Learning Module1 1単位 Effective Learning Module2 1単位 履修条件: Effective Language Learning Course1 又は Effective Learning Module1 (重複履修可)				※1		修得した場合 自由選択科目 となる
選択 外国語科目	選択必修	選択外国語 I (a) / (b) (各2単位)								4単位	4	
基礎教育科目	必修	基礎演習 I 2	基礎演習 II 2	キャリアデザイン I (基礎) 2							6単位	6
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目又は体育・スポーツを修得すること								10単位	10	
研究科目	必修	国際コミュニケーション入門 2 Introduction to Japan Studies 2								8単位	50	
		コミュニケーション論 I、異文化コミュニケーション論 I 各2										
	選択必修 I群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から18単位を修得すること。選択したコースで18単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 <両コース共通> 【履修年次 1~4】各4単位 日本語パブリック・スピーキング 【履修年次 1~4】各2単位 コミュニケーション論 II 異文化コミュニケーション論 II 多文化社会コミュニケーション論 I 国際ビジネス・コミュニケーション論 I ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II デジタル・メディアと社会 I								18単位		
	選択必修 II群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から8単位を修得すること。選択したコースで8単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。 <両コース共通> 【履修年次 3~4】各2単位 コミュニケーション論特講 I コミュニケーション論特講 II 多様性とコミュニケーション I 多様性とコミュニケーション II グローバル化と社会 I グローバル化と社会 II								8単位		
研究科目 (その他)	研究科目(その他) 16単位 すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。								16単位			
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。								4	4単位	4
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)								4	修得した場合 研究科目(その他)となる	
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。								10単位	10	

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻留学生		1年次				2年次				3年次				4年次				卒業要件単位数			
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期					
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位				
日本語科目	必修	日本語特別演習	2															2単位			
	選択必修A群	日本語チュートリアルⅠ	1	日本語チュートリアルⅡ	1	※日本語チュートリアルⅠ/Ⅱは1年次のみ履修可												6単位			
		日本語総合講座Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ/Ⅴ																	各2		
	選択必修B群	日本語表現演習																	2		
		ビジネス日本語Ⅰ/Ⅱ から2単位以上																	各2		
	英語科目	E I S ・ A	必修	Guided Independent Study Ⅰ	1	Guided Independent Study Ⅱ	1	Intermediate English Ⅰ	2	Intermediate English Ⅱ	2							10単位			
			選択必修	Basic English Ⅰ(☆)	4	Basic English Ⅱ(☆)	4	Guided Independent Study Ⅲ(*1)	1	Guided Independent Study Ⅳ(*1)	1	Oral Communication Ⅰ(EIS)	2	Oral Communication Ⅱ(EIS)	2	※6単位を超える修得単位数は、英語・日本語選択科目の単位とする。18単位まで履修可。			6単位		
			(☆) 指定された学生は必修																		
			E I S ・ B	必修	Guided Independent Study Ⅰ	1	Guided Independent Study Ⅱ	1	(*1)履修条件:Intermediate English ⅠおよびⅡ。3~4年次も履修可											10単位	
				選択必修	Intermediate English Ⅰ	2	Intermediate English Ⅱ	2												6単位	
Academic Writing Ⅰ(EIS)		2		Academic Writing Ⅱ(EIS)	2																
E I C		必修	Guided Independent Study Ⅲ(*1)	1	Guided Independent Study Ⅳ(*1)	1												6単位			
		選択必修	Oral Communication Ⅰ(EIS)	2	Oral Communication Ⅱ(EIS)	2	※6単位を超える修得単位数は、英語・日本語科目選択科目の単位とする。10単位まで履修可。														
		Communicative Grammar Ⅰ(EIS)	2	Communicative Grammar Ⅱ(EIS)	2																
E I C		必修	English for International Communication Ⅰ(a)	4	English for International Communication Ⅰ(b)	4												16単位			
	Reading/Writing Ⅰ	4	Reading/Writing Ⅱ	4																	
英語・日本語選択科目	E I C	選択	※履修者は3科目全てを同時履修すること				English for International Communication Ⅱ(a)	2	English for International Communication Ⅱ(b)	2	English for International Communication Ⅲ(各4単位) 履修条件:C基準						6単位				
		Media English Ⅰ	2	Media English Ⅱ	2	* 前期4単位、後期4単位を履修上限とする * 16単位まで履修可															
		Advanced Reading Ⅰ	2	Advanced Reading Ⅱ	2																
	E I S ・ A と B / E I C 共通	選択	【履修年次 1~4年】 時事英語Ⅰ 2単位 履修条件:EISの学生は、Intermediate English Ⅰ、Ⅱ 時事英語Ⅱ 2単位 履修条件:時事英語ⅠまたはC基準(4単位まで履修可) ビジネス英語Ⅰ 2単位 履修条件:EISの学生は、Intermediate English Ⅰ、Ⅱ ビジネス英語Ⅱ 2単位 履修条件:EISの学生は、Intermediate English Ⅰ、Ⅱ Effective Language Learning Course Ⅰ 1単位 Effective Language Learning Course Ⅱ 1単位 履修条件:Effective Language Learning CourseⅠ 又は Effective Learning ModuleⅠ(重複履修可) Effective Learning Module Ⅰ 1単位 Effective Learning Module Ⅱ 1単位 履修条件:Effective Language Learning CourseⅡ 又は Effective Learning ModuleⅡ(重複履修可) ※:本欄の科目の詳細についてはp.52を参照 ※:TOEIC演習/TOEFL演習および検定試験についてはp.84~88自由選択科目別表2・3を参照																		
		TOEIC500演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 500点未満	TOEFL ITP480演習 1単位 履修条件:TOEFL ITP480演習未修得																		
		TOEIC600演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 400点以上600点未満	TOEFL ITP500演習 1単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 B基準(ITP500, iBT61)未満																		
		TOEIC700演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 500点以上700点未満	TOEFL iBT68演習 Listening/Reading 1単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満																		
		TOEIC800演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 600点以上800点未満	TOEFL iBT68演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件:TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満																		
		TOEIC900演習 1単位 履修条件:TOEIC L&R 700点以上900点未満	TOEFL iBT80演習 Listening/Reading 1単位 履修条件:TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満																		
		検定試験(英語)(日本語) 2~4単位	TOEFL iBT80演習 Speaking/Writing 1単位 履修条件:TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満																		
基礎教育科目	必修	基礎演習Ⅰ	2	基礎演習Ⅱ	2	キャリアデザインⅠ(基礎)	2											6単位			
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目又は体育・スポーツを修得すること																	10単位		
研究科目	必修	国際コミュニケーション入門	2	Introduction to Japan Studies	2													8単位			
		コミュニケーション論Ⅰ、異文化コミュニケーション論Ⅰ																	各2		
	選択必修Ⅰ群	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から18単位を修得すること。選択したコースで18単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他の)の単位となる。																			
		【履修年次 1~4】各4単位 日本語パブリックスピーキング 【履修年次 1~4】各2単位 コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 多文化社会コミュニケーション論Ⅰ 組織コミュニケーション論Ⅰ ジャーナリズム論Ⅰ ジャーナリズム論Ⅱ デジタル・メディアと社会Ⅰ																			
		【履修年次 1~4】各2単位 コミュニケーション研究Ⅰ コミュニケーション研究Ⅱ 国際ビジネス・コミュニケーション論Ⅰ 国際ビジネス・コミュニケーション論Ⅱ 多文化共生論Ⅰ 国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ 国際関係史Ⅰ																			
		【履修年次 1~4】各2単位 コミュニケーション研究Ⅱ コミュニケーション論特講Ⅰ コミュニケーション論特講Ⅱ 【履修年次 1~4】各2単位 国際開発論Ⅰ 国際マーケティング論Ⅰ 国際開発論Ⅱ 国際マーケティング論Ⅱ 国際機構論Ⅰ 国際社会論Ⅰ 国際機構論Ⅱ 国際社会論Ⅱ 国際協力論Ⅰ 国際経営論Ⅰ 国際協力論Ⅱ 国際経営論Ⅱ																			
	選択必修Ⅱ群	【履修年次 1~4】各2単位 デジタル・メディアと社会Ⅱ 対人コミュニケーション論 Debate Public Speaking 【履修年次 1~4】各2単位 多文化社会コミュニケーション論Ⅱ メディア文化論Ⅰ メディア文化論Ⅱ 非言語コミュニケーション論 メディア表現論Ⅰ メディア表現論Ⅱ 認知言語学入門Ⅰ 認知言語学入門Ⅱ																			
		【履修年次 1~4】各2単位 日本倫理思想史Ⅰ 日本近代史 日本倫理思想史Ⅱ 日本現代史 日本倫理思想史Ⅲ 民族・宗教問題研究 多文化共生論Ⅱ																			
	研究科目(その他)	いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から8単位を修得すること。選択したコースで8単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他の)の単位となる。																			
		【履修年次 3~4】各2単位 コミュニケーション研究Ⅲ コミュニケーション論特講Ⅲ コミュニケーション論特講Ⅳ 【履修年次 3~4】各2単位 国際関係論Ⅲ 東アジア政治経済論Ⅰ 国際関係論Ⅳ 東アジア政治経済論Ⅱ 国際関係史Ⅱ Japanese Literature 国際関係史Ⅲ International Relations: Japan in a Global Context 国際関係史Ⅳ Japanese Politics 国際関係史Ⅴ Women's Studies in Japan																			
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習(通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。																	4	4単位	4
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)																	4	修得した場合 研究科目(その他)となる	
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。																	18単位	18	

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

■留学生は入学時の英語能力判定試験の結果により EIS・Aクラス、EIS・Bクラス、EICクラスのいずれかを指定される。

■EIS: English for International Students は留学生のための英語クラス、EIC: English for International Communication は一般学生(IC専攻)の英語クラスである。

■外国語科目の卒業要件は36単位。「英語科目」16単位、「日本語科目」10単位は必ず履修すること。残り10単位は、「英語科目」「日本語科目」「英語・日本語選択科目」の中から自由に選択してよい。

■「英語科目」および「日本語科目」の選択必修科目修得単位数が指定単位数を超えた場合は「英語・日本語選択科目」の単位とする。また、外国語科目の修得単位数が卒業要件の36単位を超えた場合は「自由選択科目」の単位とする。

合計124単位

国際コミュニケーション学科 国際ビジネスキャリア専攻	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件単位数																																																							
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期																																																								
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位																																																						
英語科目	必修	English for International Communication I (a) 4 Reading/Writing I 4	English for International Communication I (b) 4 Reading/Writing II 4	English for International Communication II (a) 2 Media English I 2 Advanced Reading I 2	English for International Communication II (b) 2 Media English II 2 Advanced Reading II 2	English for International Communication III (IBC) ※クラス指定 4				32単位																																																						
	選択必修	<p>※ビジネス英語 I、II及びEnglish for International Communication IIIの中から4単位以上を含み、下表の科目と合わせて8単位を修得すること</p> <table border="1"> <tr> <td>ビジネス英語 I *どの学年で取っても良い</td> <td>2</td> <td>ビジネス英語 II *どの学年で取っても良い</td> <td>2</td> <td colspan="4">English for International Communication III (English for International Communication III (IBC)とは別科目) 履修条件:C基準</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>【履修年次 1~4】</p> <table border="1"> <tr> <td>時事英語 I</td> <td>2 単位</td> <td>TOEIC500演習</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEIC L&R 500点未満</td> </tr> <tr> <td>時事英語 II</td> <td>2 単位</td> <td>履修条件: 時事英語 I またはC基準(4単位まで履修可)</td> <td>TOEIC600演習</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEIC L&R 400点以上600点未満</td> </tr> <tr> <td>Effective Language Learning Course I</td> <td>1 単位</td> <td rowspan="2">※1</td> <td>TOEIC700演習</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEIC L&R 500点以上700点未満</td> </tr> <tr> <td>Effective Language Learning Course II</td> <td>1 単位</td> <td>TOEIC800演習</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEIC L&R 600点以上800点未満</td> </tr> <tr> <td>Effective Learning Module I</td> <td>1 単位</td> <td>TOEIC900演習</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEIC L&R 700点以上900点未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Effective Learning Module II</td> <td rowspan="2">1 単位</td> <td rowspan="2">履修条件: Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)</td> <td>TOEFL iBT68演習 Listening/Reading</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満</td> </tr> <tr> <td>TOEFL iBT68演習 Speaking/Writing</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Effective Learning Module II</td> <td rowspan="2">1 単位</td> <td rowspan="2">履修条件: Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)</td> <td>TOEFL iBT80演習 Listening/Reading</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満</td> </tr> <tr> <td>TOEFL iBT80演習 Speaking/Writing</td> <td>1 単位</td> <td>履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満</td> </tr> </table> <p>※1: 本欄の科目の詳細についてはp.52を参照 ※2: TOEIC演習/TOEFL演習についてはp.86~88自由選択科目別表3を参照</p>								ビジネス英語 I *どの学年で取っても良い	2	ビジネス英語 II *どの学年で取っても良い	2	English for International Communication III (English for International Communication III (IBC)とは別科目) 履修条件:C基準				4	時事英語 I	2 単位	TOEIC500演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 500点未満	時事英語 II	2 単位	履修条件: 時事英語 I またはC基準(4単位まで履修可)	TOEIC600演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 400点以上600点未満	Effective Language Learning Course I	1 単位	※1	TOEIC700演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 500点以上700点未満	Effective Language Learning Course II	1 単位	TOEIC800演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 600点以上800点未満	Effective Learning Module I	1 単位	TOEIC900演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 700点以上900点未満	Effective Learning Module II	1 単位	履修条件: Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)	TOEFL iBT68演習 Listening/Reading	1 単位	履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満	TOEFL iBT68演習 Speaking/Writing	1 単位	履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満	Effective Learning Module II	1 単位	履修条件: Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)	TOEFL iBT80演習 Listening/Reading	1 単位	履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満	TOEFL iBT80演習 Speaking/Writing	1 単位	履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満	8単位
ビジネス英語 I *どの学年で取っても良い	2	ビジネス英語 II *どの学年で取っても良い	2	English for International Communication III (English for International Communication III (IBC)とは別科目) 履修条件:C基準				4																																																								
時事英語 I	2 単位	TOEIC500演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 500点未満																																																												
時事英語 II	2 単位	履修条件: 時事英語 I またはC基準(4単位まで履修可)	TOEIC600演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 400点以上600点未満																																																											
Effective Language Learning Course I	1 単位	※1	TOEIC700演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 500点以上700点未満																																																											
Effective Language Learning Course II	1 単位		TOEIC800演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 600点以上800点未満																																																											
Effective Learning Module I	1 単位	TOEIC900演習	1 単位	履修条件: TOEIC L&R 700点以上900点未満																																																												
Effective Learning Module II	1 単位	履修条件: Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)	TOEFL iBT68演習 Listening/Reading	1 単位	履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満																																																											
			TOEFL iBT68演習 Speaking/Writing	1 単位	履修条件: TOEFL C基準(ITP480, iBT54)以上 A基準(ITP520, iBT68)未満																																																											
Effective Learning Module II	1 単位	履修条件: Effective Language Learning Course I 又は Effective Learning Module I(重複履修可)	TOEFL iBT80演習 Listening/Reading	1 単位	履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満																																																											
			TOEFL iBT80演習 Speaking/Writing	1 単位	履修条件: TOEFL A基準(ITP520, iBT68)以上 iBT80未満																																																											
選択外国語科目	選択必修	選択外国語 I (a) / (b) (各2単位) ※履修前に英語履修基準のB基準以上に達していることが望ましい。どの学年で履修しても良いが3年次からの履修が望ましい。								4単位	4																																																					
基盤教育科目	必修	基礎演習 I 2	基礎演習 II 2	キャリアデザイン I (基礎) 2						6単位	6																																																					
教養科目	選択必修	講義系科目から4科目8単位を修得し、残りの2単位は講義系科目又は体育・スポーツを修得すること								10単位	10																																																					
研究科目	必修	<table border="1"> <tr> <td>企業研究 I 2</td> <td>企業研究 II 2</td> <td>経営戦略 2</td> </tr> <tr> <td>簿記会計 I 2</td> <td>簿記会計 II 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビジネスリサーチ演習 I 2</td> <td>ビジネスリサーチ演習 II 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キャリアデザイン II (応用) 2</td> <td colspan="2">ビジネス・インターンシップ *2年夏期または2年春期に実習、報告書提出</td> </tr> </table> <p>※キャリアデザイン II (応用)を2年後期、ビジネス・インターンシップを3年前期に履修(2年春期又は3年夏期に実習)することも可。</p>								企業研究 I 2	企業研究 II 2	経営戦略 2	簿記会計 I 2	簿記会計 II 2		ビジネスリサーチ演習 I 2	ビジネスリサーチ演習 II 2		キャリアデザイン II (応用) 2	ビジネス・インターンシップ *2年夏期または2年春期に実習、報告書提出		18単位																																										
	企業研究 I 2	企業研究 II 2	経営戦略 2																																																													
	簿記会計 I 2	簿記会計 II 2																																																														
	ビジネスリサーチ演習 I 2	ビジネスリサーチ演習 II 2																																																														
キャリアデザイン II (応用) 2	ビジネス・インターンシップ *2年夏期または2年春期に実習、報告書提出																																																															
専攻指定	選択必修 I 群	<p>いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から12単位を修得すること。選択したコースで12単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。</p> <p><コミュニケーション研究コース> 【履修年次 1~4】各4単位 日本語パブリックスピーキング 日本語スモールグループ・コミュニケーション 日本語ディベート Debate Public Speaking</p> <p><国際ビジネス研究コース> 【履修年次 1~4】各2単位 国際ビジネス・コミュニケーション論 I 国際ビジネス・コミュニケーション論 II 組織コミュニケーション論 I 組織コミュニケーション論 II</p> <p>【履修年次 1~4】各2単位 コミュニケーション論 I コミュニケーション論 II ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II 異文化コミュニケーション論 I 異文化コミュニケーション論 II 多文化社会コミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 II 国際関係論 I 国際関係論 II Leadership Communication I</p> <p>メディアリテラシー メディア文化論 I メディア文化論 II メディア表現論 I メディア表現論 II メディア・コミュニケーション表現 I メディア・コミュニケーション表現 II</p> <p>コミュニケーション研究法 I コミュニケーション研究法 II 認知言語学入門 I 認知言語学入門 II 国際関係史 I</p>								12単位																																																						
選択必修 II 群	選択必修 II 群	<p>いずれか1つのコースを選択し、選択したコースの科目から4単位を修得すること。選択したコースで4単位を超えて修得した単位、選択しなかったコースの科目から修得した単位は、研究科目(その他)の単位となる。</p> <p><コミュニケーション研究コース> 【履修年次 3~4】各2単位 多様性とコミュニケーション I 多様性とコミュニケーション II</p> <p>コミュニケーション論特講 I コミュニケーション論特講 II</p> <p>脳・心とコミュニケーション I 脳・心とコミュニケーション II</p> <p>Leadership Communication II Media and Japanese Society</p> <p><国際ビジネス研究コース> 【履修年次 2~4】各2単位 韓国企業研究 I 韓国企業研究 II</p> <p>【履修年次 3~4】各2単位 マーケティングリサーチ アントレプレナーシップ論</p> <p>企業行動論 I 企業行動論 II</p>								4単位																																																						
研究科目(その他)	研究科目(その他)	研究科目(その他) 16単位 すべての研究科目(※)の中から16単位を修得すること。								16単位																																																						
演習科目	選択必修	研究演習 または 応用演習 (通年科目・各4単位) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習か応用演習のいずれか1科目(4単位)を修得すること。 各学年で1科目(4単位)まで履修可。4単位を超えて修得した場合は、研究科目(その他)の単位となる。								4	4単位	4																																																				
卒業研究	選択	卒業研究(通年科目)								4	修得した場合 研究科目(その他)となる																																																					
自由選択科目	自由選択科目	※各科目群の卒業要件単位数を超えて修得した単位は自由選択科目の単位となる。								10単位	10																																																					

■研究科目の履修条件については、p.62~79参照

合計124単位

(7) 教職科目

- イ. 教育職員免許状取得に関わる授業科目は、1年次から履修できます。
 - ロ. 教育職員免許状取得については、学生用ポータルサイト（UNIPA）、教職用Google Classroomで指示することがあるので、注意してください。
 - ハ. 教職科目のうち、「教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談等に関する科目」は、履修した場合自由選択科目として8単位まで卒業要件単位に充てることができます。
- ニ. 授業科目の一覧および履修年次については、「XV 教職課程履修要項」を参照してください。
- ホ. 「介護等体験実習」はハ. の8単位とは別に自由選択科目として1単位を卒業要件に充てることができます。

(8) 自由選択科目

自由選択科目は、下記の科目を充てることができます。

- イ. 各科目群の要件を超えて修得した単位
 - ロ. 教職科目の一部科目8単位までおよび「介護等体験実習」（1単位）（(7)教職科目のハ. およびホ. 参照）
 - ハ. グローバル・リベラルアーツ学部の基礎教養B群科目および専門教養科目のうち、外国語学部に開放された科目
 - ＜履修条件＞
 - ・履修学年、前提科目、語学基準等の履修条件はグローバル・リベラルアーツ学部の条件が適用されます。
 - ・一部の科目、クラスについては履修できません。履修の可否は、シラバスや初回授業で担当教員へ確認してください。
 - ニ. 大学院言語科学研究科日本語学専攻の科目のうち、外国語学部学生に開放された科目
 - ＜履修条件＞
 - ・履修学年 学部3～4年生
 - ・事前に科目担当教員の承認を受け、履修登録期間に教務部で所定の手続きを行うこと開放科目は年度毎に定められ、学生用ポータルサイト（UNIPA）で配布される「時間割」冊子に掲載されます。科目の概要は電子シラバスで確認できますが、学部学生が履修する場合、別に履修条件が定められていることがあります。不明な点は教務部へ問い合わせてください。
 - ホ. 放送大学授業科目（20単位まで）
 - ヘ. 千葉県私立大学間単位互換包括協定に基づく他大学の授業科目（20単位まで）
 - ト. 千葉圏域コンソーシアム単位互換協定に基づく千葉大学、敬愛大学、城西国際大学の授業科目（20単位まで）
- （ホ.～ト. 「X 他大学および他機関で修得した単位の認定等について 1. 単位の認定」参照）
- チ. 国内外留学制度を利用して修得した単位のうち、自由選択科目に区分されたもの
 - リ. 別表記載の科目
 - 別表1
 - 別表2（語学能力検定試験単位認定制度により修得した単位）
 - 別表3（TOEIC演習、TOEFL演習）

XX KUISデータサイエンス・AI教育プログラム（基礎・応用）履修要項

1. プログラムの趣旨

私たちが暮らす現代社会において、データやAIは様々な面で活用されており、必要不可欠なものとなっています。またそれらを正しく理解し活用できることは、今後の社会において求められるスキルともなります。

KUISデータサイエンス・AI基礎教育プログラム／KUISデータサイエンス・AI応用教育プログラムでは、このような背景において必要な力を身につけることを目指します。

各プログラムの目的は以下の通りです。

KUISデータサイエンス・AI基礎教育プログラム（これ以降「基礎」と記載する）

様々なデータやAIを基盤とした現代社会を生きていくために、それらへの関心を高め、適切に理解・活用するための基礎的素養を身につけ、データへの感性を養うこと。

KUISデータサイエンス・AI応用教育プログラム（これ以降「応用」と記載する）

デジタル社会の基盤となる技術の基本的な仕組みを理解するとともに、データやAIを適切に活用し探究活動や課題解決に役立てるための実践力を身につけること。

2. 各プログラムの修了要件

(1) いずれのプログラムも、履修をして所定の修了要件を満たせば、当該年度末に修了証が授与されます。

(2) 各プログラムの修了を目指す学生は、2年次以降の前期・後期開始前に登録を行ってください。

※基礎と応用両方の修了を目指す場合は、それぞれ登録を行ってください。

※登録以前に修得した単位も、プログラム修了のための単位として認められます。

(3) 各プログラムを修了するのに必要な要件と科目及びその単位数は以下の通りです。

基礎：以下に示す科目の6単位を全て修得してください。

応用：以下に示す科目の12単位を全て修得してください。

科目名	履修年次	単位数	
		基礎	応用
		必修	必修
基礎演習Ⅰ	1	2	2
基礎演習Ⅱ	1	2	2
情報基礎Ⅰ	1～4	1	1
情報基礎Ⅱ	1～4	1	1
データ・サイエンス概論	2～4		2
コンピュータ・サイエンス概論	2～4		2
ビッグデータ解析論	3～4		2

※応用の修了を目指す場合は、基礎の修了要件になっている科目から順に履修することを推奨します。

※応用のカリキュラムに加えて、さらに実践力を高めたい学生には「エビデンスと評価」の履修も推奨します。

※3年次編入の学生は、基礎演習Ⅰ・Ⅱの履修対象外であることから、本プログラムの登録はできません。

※本プログラムの修了を特に就職活動において活用する場合は、計画的に履修してください。

グローバル・リベラルアーツ 学科		1年次						2年次				3年次		4年次		卒業要件単位数							
		前期(グローバル・チャレンジ・ターム)※1						後期		前期		後期		前期				後期					
		第1ターム			第2ターム			授業科目		授業科目		授業科目		授業科目				授業科目					
授業科目		単位		授業科目		単位		授業科目		単位		授業科目		単位		授業科目		単位					
外国語科目	英語科目	必修	Academic Reading (a)	1	グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク)	Academic Reading (b)	2	Critical Reading (a)	2	Critical Reading (b)	2	長期留学 (SUNY)	(達成目標) 卒業時までにはTOEFL ITP 580点(TOEFL iBT 92点相当) を取得できるように努める。	Academic Writing (a)	1	Academic Writing (b)	2	Advanced Writing (a)	2	Advanced Writing (b)	2	21単位	27
			Academic Discussions & Presentations (a)	1		Academic Discussions & Presentations (b)	2	※2 1年次前期末までにTOEFL480以上を修得した学生は、単位認定の上履修免除する															
	English for Global Discovery	2	TOEFL ITP 演習 ※2	2		TOEFL ITP480(TOEFL iBT54相当)の取得を目標とする。																	
Self-Directed Learning (オンライン科目)	1																						
3年への進級基準(2つの条件の両方を満たすこと): ①1,2年次英語必修科目21単位のうち11単位以上を修得 ②研究演習 I (2単位)を修得																							
		選択必修							以下の科目から6単位修得すること 【履修年次2~4年】 English for GLA I 2単位 English for GLA II 2単位 English for GLA III 2単位 English for GLA IV 2単位 English for GLA V 2単位						6単位								
	選択外国語科目	選択必修							選択外国語 I (a)を2単位 毎学期前期に開講 中国語、スペイン語、韓国語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、アラビア語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語						2単位		2						
GLA基礎科目		必修	グローバル・ディスカバリー I	1	グローバル・ディスカバリー II	1	グローバル・ヒストリー I (週1回)	2	グローバル・ヒストリー II (週1回)	2	グローバル・キャリア	2	17単位		17								
			グローバル・リベラルアーツ入門 I	1	グローバル・ディスカバリー (フィールドワーク)	4	グローバル・リベラルアーツ入門 II	2	キャリアデザイン(GLA)	2	17単位		17										
基礎教養科目	A群	選択必修	一般教養科目群 (外国語学部と共通開講)						人文科学分野: 歴史学 I、歴史学 II、哲学 I、哲学 II、倫理学 I、倫理学 II、宗教学 I、宗教学 II、文学 I、文学 II、美術史学 I、美術史学 II、言語学 I、言語学 II、心理学 I、心理学 II、教育学 社会科学分野: 社会学 I、社会学 II、法学 I、法学 II、憲法 I、憲法 II、政治学 I、政治学 II、経済学 I、経済学 II、経営学 I、経営学 II、統計学 I、統計学 II 自然科学分野: 化学 I、化学 II、物理学 I、物理学 II、生物学 I、生物学 II、自然科学概論 I、自然科学概論 II						8単位		14						
	B群		デジタル・リテラシー科目群						【履修年次1年後期~4年】 数的思考法、デジタル・シチズンシップ論 【履修年次2~4年】 データサイエンス概論、コンピュータ・サイエンス概論 【履修年次3~4年】 ビッグデータ解析論、エビデンスと評価						6単位								
専門教養科目		選択必修	Humanities (人間と文化) 宗教文化論 I、宗教文化論 II、芸術文化論 I、 芸術文化論 II、人間と文学、人間と思想、 世界近現代史、文化人類学						Societies (社会と共生) 共生社会論、社会と多様性 I、社会と多様性 II、 社会とサステナビリティ、現代社会とイノベーション、 Language, Culture and Communication、 デジタル・メディアと社会、多文化共生コミュニケーション						Global Studies (グローバル・スタディーズ) グローバル・ガバナンス I、グローバル・ガバナンス II、 地域とグローバル世界 I、地域とグローバル世界 II、 グローバル平和論、国際法、Law and Institutions in Global Society、 国際開発論		14単位		14				
留学科目		必修							SUNY						16単位		16						
演習科目	基礎	必修	アカデミック・スキルズ I	1							アカデミック・スキルズ II	2	3単位		3								
	講読	選択必修							Humanities (人間と文化) 講読(宗教文化)、講読(芸術文化)、 講読(文学/思想)、講読(歴史)		Societies (社会と共生) 講読(社会と多様性)、講読(社会とサステナビリティ)、 講読(現代社会とイノベーション)、講読(多文化共生コミュニケーション)		Global Studies (グローバル・スタディーズ) 講読(グローバル・ガバナンス)、講読(地域とグローバル世界)、講読(グローバル平和論)		6単位		6						
	研究	必修							研究演習 I	2	研究演習 II	2	研究演習 III	4	卒業研究(キャップストーン・プロジェクト)	4	12単位	12					
自由選択科目		1) 上記にある選択必修科目のうち、「卒業要件単位数を超えた単位」は自由選択科目とする 2) 外国語学部の下記科目を自由選択科目として履修できる(詳細はp.30参照) 【履修年次 1年後期~4年】 【外国語学部 英語科目】 ・時事英語 I・II、ビジネス英語 I・II ・ELLC II、ELM II ・TOEIC科目全般 ・TOEFL科目全般 (TOEFL ITP480演習A、Bの外国語学部1年次指定クラスは除く)						【外国語学部 研究科目】 ・研究科目全般 【外国語学部 自由選択科目】 ・キャリア科目全般 ・選択外国語 I (b)・II・III ・トライ外国語 ・トライことばと文化 ・検定試験(外国語)						18単位		18							
履修登録上限単位数		必修のみ(14単位)						22単位		22単位		22単位		(16単位)		30単位		30単位		合計129単位			

※1 1年次前期は「グローバル・チャレンジ・ターム」となっており、約3週間の短期留学である海外スタディーツアーを基軸に、前半8週、後半8週での合計16週で、大学4年間における学びを方向付ける期間となっている。
 :海外留学期間

XIV KUISデータサイエンス・AI教育プログラム(基礎・応用) 履修要項

1. プログラムの趣旨

私たちが暮らす現代社会において、データやAIは様々な面で活用されており、必要不可欠なものとなっています。またそれらを正しく理解し活用できることは、今後の社会において求められるスキルともなります。

KUISデータサイエンス・AI基礎教育プログラム／KUISデータサイエンス・AI応用教育プログラムでは、このような背景において必要な力を身につけることを目指します。

各プログラムの目的は以下の通りです。

KUISデータサイエンス・AI基礎教育プログラム（これ以降「基礎」と記載する）

様々なデータやAIを基盤とした現代社会を生きていくために、それらへの関心を高め、適切に理解・活用するための基礎的素養を身につけ、データへの感性を養うこと。

KUISデータサイエンス・AI応用教育プログラム（これ以降「応用」と記載する）

デジタル社会の基盤となる技術の基本的な仕組みを理解するとともに、データやAIを適切に活用し探究活動や課題解決に役立てるための実践力を身につけること。

2. 各プログラムの修了要件

(1) いずれのプログラムも、履修をして所定の修了要件を満たせば、当該年度末に修了証が授与されます。

(2) 各プログラムの修了を目指す学生は、2年次以降の前期・後期開始前に登録を行ってください。

※基礎と応用両方の修了を目指す場合は、それぞれ登録を行ってください。

※登録以前に修得した単位も、プログラム修了のための単位として認められます。

(3) 各プログラムを修了するのに必要な要件と科目及びその単位数は以下の通りです。

基礎：以下に示す科目から必修2単位を含み、4単位を修得してください。

応用：以下に示す科目の8単位を全て修得してください。

科目名	履修年次	単位数		
		基礎		応用
		必修	選択必修	必修
デジタル・シチズンシップ論	1～4	2		2
数的思考法	1～4		2	
統計学Ⅰ	1～4		2	
統計学Ⅱ	1～4		2	
データ・サイエンス概論	2～4		2	2
コンピュータ・サイエンス概論	2～4			2
ビッグデータ解析論	3～4			2

※応用の修了を目指す場合は、基礎の修了要件になっている科目から順に履修することを推奨します。

※応用のカリキュラムに加えて、さらに実践力を高めたい学生には「エビデンスと評価」の履修も推奨します。

※本プログラムの修了を特に就職活動において活用する場合は、計画的に履修してください。

神田外語大学教養・基盤教育運営部会規則

(趣旨)

第1条 神田外語大学教養・基盤教育運営部会（以下「運営部会」という。）の組織および運営については、この規則に定めるところによる。

(運営部会の目的)

第2条 運営部会は、教養科目及び基盤教育科目をはじめとする教養教育のカリキュラムの運営を通して、本学における教養・基盤教育の充実に資することを目的とする。

(組織)

第3条 運営部会は次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 部会長
- (2) 教養科目を担当する専任教員
- (3) 基礎演習の主担当及び教材担当をする専任教員
- (4) 前号に掲げる者のほか、部会長の指名する専任教員

2 部会長は、必要に応じ、関係する教職員に出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会長)

第4条 部会長は、学長の推薦により理事会が選任する。

(任期)

第5条 部会長の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 第3条第1項第3号及び第4号に掲げる者の任期は、原則として指名年度限りとする。

(職務)

第6条 運営部会は、次の事項を担当する。

- (1) 教養科目及び基盤教育科目に関する事項
- (2) 教養科目、基盤教育科目及び専攻語以外の外国語科目を担当する教員人事に関する事項
- (3) 前各号に掲げるもののほか、教養・基盤教育の運営に関する事項

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則
この規則は、平成29年6月1日から施行する。

附 則
この規則は、令和5年4月1日から施行する。

神田外語大学質保証・質向上に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、神田外語大学学則第1条の2第2項及び神田外語大学大学院学則第2条の2第2項の規定に基づき、神田外語大学（以下「本学」という。）が自己点検及び評価等を通じた質保証・質向上に取り組むこと（以下「質保証・質向上」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(質保証・質向上委員会)

第2条 質保証・質向上に全学的・総合的に取り組むため、本学に質保証・質向上委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 質保証・質向上に向けた全学的・総合的な取り組みに関する基本方針の企画立案及び実施に関すること
- (2) 本学の全般的な活動についての自己点検・評価に関すること
- (3) 認証評価機関による認証評価に関すること
- (4) 教育目的を達成するために行う管理運営（以下「教学マネジメント」という。）に関すること
- (5) 本学の教育・研究の一層の充実と発展に資する中期的な計画に関すること
- (6) 質保証・質向上についての情報公開に関すること
- (7) その他質保証・質向上に関すること

3 委員会は、各種委員会に対し、質保証・質向上に向けて必要な措置を講じるよう勧告するとともに、当該結果について報告を徴することができる。

4 委員会の事務は、学長室において行う。ただし、第2項第2号、第3号及び第6号に関する事務は総務部において行う。

5 第2項に規定する自己点検・評価及び教学マネジメントの実施に必要な事項は別に定める。

(委員会の組織・運営)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 研究科長
- (4) 学部長
- (5) 学科長及び専攻長
- (6) 学長補佐
- (7) 教務委員長
- (8) FD委員長
- (9) 事務局長
- (10) 学長が指名した者

- 2 委員会に委員長を置き、学長をもってこれにあてる。
- 3 委員会は委員長が招集し、その議長となる。
- 4 委員会は、構成員の三分の二以上が出席しなければ、議事を開くことができない。
- 5 議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
- 6 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させて意見を聞くことができる。

(情報公表)

第4条 質保証・質向上並びに関連する点検・評価の結果に関する情報は、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に提供するものとする。

附 則

この規則は、平成22年5月27日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年7月17日から施行し、同月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

大学等名	神田外語大学	申請レベル	応用基礎レベル（大学等単位）
教育プログラム名	KUISデータサイエンス・AI教育プログラム（応用）	申請年度	令和7年度

取組概要

目的 デジタル社会の基盤となる技術の基本的な仕組みを理解するとともに、データやAIを適切に活用し探究活動や課題解決に役立てるための実践力を身につけること

身につけることができる能力

- ・コンピュータやAIの基本的な原理と仕組みを説明することができる
- ・コンピュータやAIが実社会とどのように関わっているかを説明することができる
- ・プログラミングの基本的な手法を理解し必要な実装を行うことができる
- ・様々なデータ分析手法を理解し必要な際に行うことができる
- ・適切な調査設計・データ収集・処理・分析を行うことができる
- ・データやAIを適切に活用し課題の発見・解決に役立てることができる

カリキュラム・修了要件

外国語学部（2023年度以降入学者対象）

修了要件：以下に示す12単位の修得 ◎必修

科目名	応用プログラム修了要件(12単位)	単位数	履修年次	学部カリキュラム上の位置づけ
基礎演習Ⅰ(デジタル・シチズンシップセクション)	◎	2	Ⅰ(前期)	必修
基礎演習Ⅱ(データサイエンス初歩セクション)	◎	2	Ⅰ(後期)	必修
情報基礎Ⅰ	◎	1	Ⅰ～4(前期)	自由選択
情報基礎Ⅱ	◎	1	Ⅰ～4(後期)	自由選択
データ・サイエンス概論	◎	2	2～4(後期)	自由選択
コンピュータ・サイエンス概論	◎	2	2～4(後期)	自由選択
ビッグデータ解析論	◎	2	3～4(前期)	自由選択

※さらに実践力を高めたい学生には「エビデンスと評価」の履修も推奨（プログラム修了要件外）

GLA学部（全学生対象）

修了要件：以下に示す8単位の修得 ◎必修 ○選択必修(1科目)

科目名	応用プログラム修了要件(8単位)	単位数	履修年次	学部カリキュラム上の位置づけ
デジタル・シチズンシップ論	◎	2	Ⅰ～4(前期)	選択必修(基礎教養B群**)
数的思考法	-	2	Ⅰ～4(前期)	選択必修(基礎教養B群)
統計学Ⅰ	-	2	Ⅰ～4(前後期)	選択必修(基礎教養A群)
統計学Ⅱ	-	2	Ⅰ～4(前期)	選択必修(基礎教養A群)
データ・サイエンス概論	◎	2	2～4(後期)	選択必修(基礎教養B群)
コンピュータ・サイエンス概論	◎	2	2～4(後期)	選択必修(基礎教養B群)
ビッグデータ解析論	◎	2	3～4(前期)	選択必修(基礎教養B群)

*2024年度以前の入学者は2年次以降の履修
**基礎教養B群の卒業要件は6単位。2025年度以降の入学者はそれを超えた分は自由選択科目

開設年度 2025年度（ただし修了認定は2024年度以前に修得した単位も含めて行う）

プログラムを点検・評価する組織	質保証・質向上委員会	プログラムを改善・進化させる組織	教養・基盤教育運営部会	修了証	要件を満たした年度の末に発行（オープンバッジ+希望者のみ紙）
-----------------	------------	------------------	-------------	-----	--------------------------------

シラバスに関する補足資料

「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」については、02【応用基礎】のシラバス内には代表シラバスのみ掲載していますが、実際には同一科目として下記一覧の通り複数のクラスを開講しています。なお、いずれのクラスもシラバス内容は共通です。

神田外語大学シラバス検索URL：<https://unipa.kandagaigo.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

曜日時限	授業科目	担当教員	開講区分	開講年度学期
	230010101 基礎演習Ⅰ A1	曾我部 和馬	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010102 基礎演習Ⅰ A2	古賀 万紀子	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010103 基礎演習Ⅰ A3	近藤 秀樹	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010104 基礎演習Ⅰ B	伊藤 未帆／柳 在廣	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010106 基礎演習Ⅰ C	飯島 明子／大森 優	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010108 基礎演習Ⅰ D1	広瀬 和佳子	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010109 基礎演習Ⅰ D2	林 亜美	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010110 基礎演習Ⅰ E	飯島 明子／石井 雅章	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 前期
	230010201 基礎演習Ⅱ A1	曾我部 和馬	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期
	230010202 基礎演習Ⅱ A2	古賀 万紀子	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期
	230010203 基礎演習Ⅱ A3	近藤 秀樹	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期
	230010204 基礎演習Ⅱ B	伊藤 未帆／柳 在廣	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期
	230010206 基礎演習Ⅱ C	飯島 明子／大森 優	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期
	230010208 基礎演習Ⅱ D1	広瀬 和佳子	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期
	230010209 基礎演習Ⅱ D2	林 亜美	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期
	230010210 基礎演習Ⅱ E	飯島 明子／石井 雅章	集中講義／曜日時限のない科目	2025年度 後期

16件 (1 / 1)